

## 2. ことでんをとりまく現状

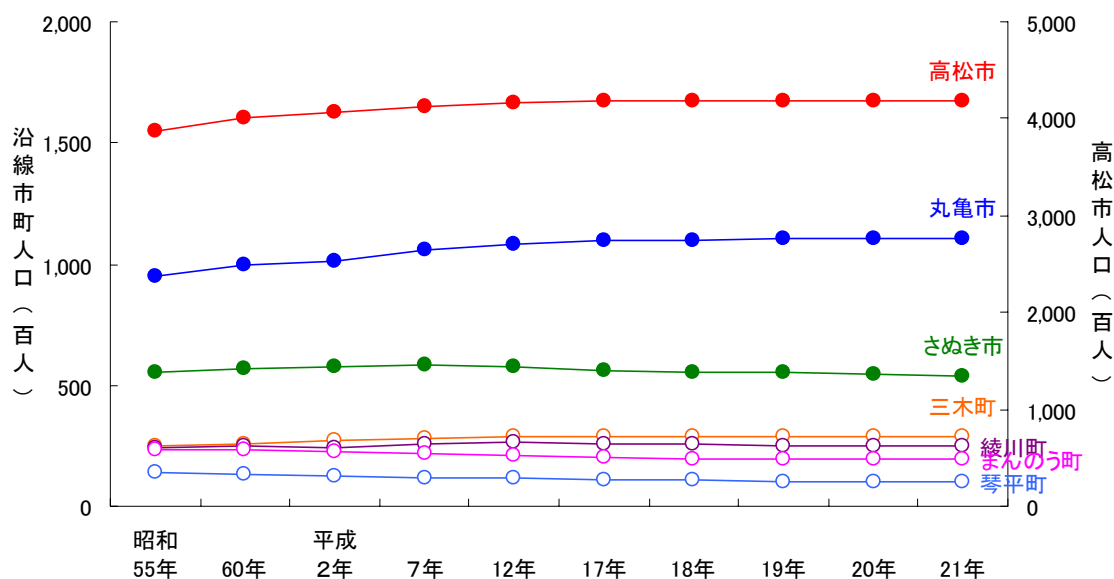
### 2-1. 地域現況

#### (1)人口動向

##### ①沿線市町の人口推移

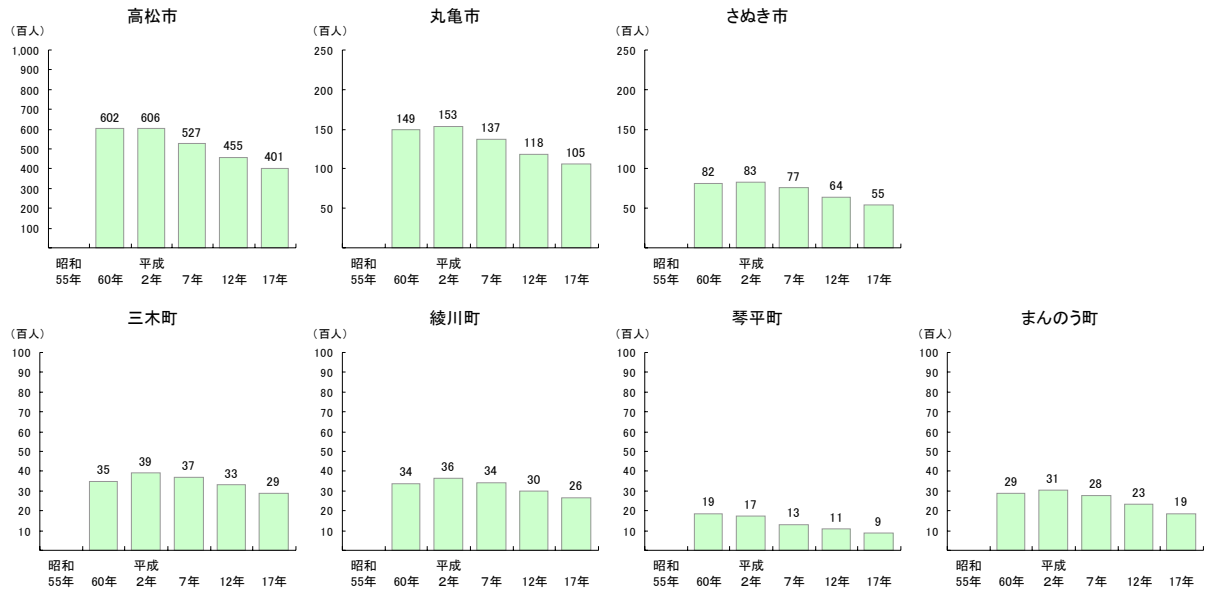
- ・ことでん沿線市町の人口は、概ね横ばい傾向にあります。
- ・このようななか、公共交通の利用が期待される10歳代（学生）の人口は減少傾向にあります。
- ・一方、ことでん沿線における高齢化が進行し、高齢者数が増加傾向にあります。

#### <沿線人口における人口の推移>



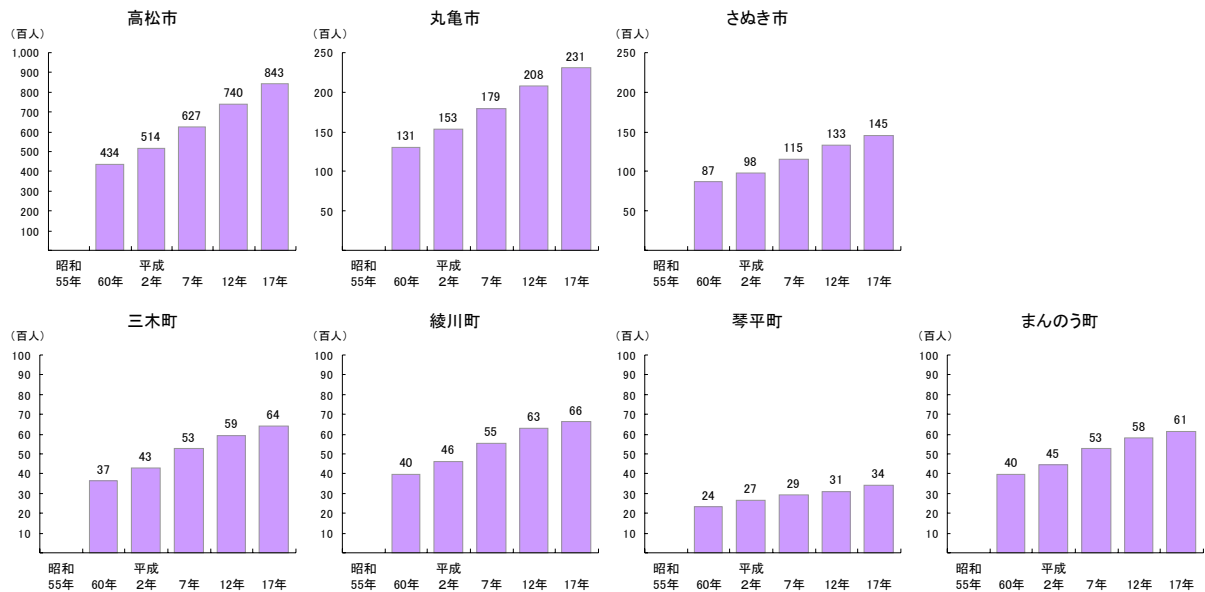
資料：国勢調査(昭和55年～平成17年)、香川県人口移動調査(平成18年～21年)

### <沿線市町における10歳代の人口推移>



資料:国勢調査(昭和55年~平成17年)

### <沿線市町における65歳以上の人口推移>

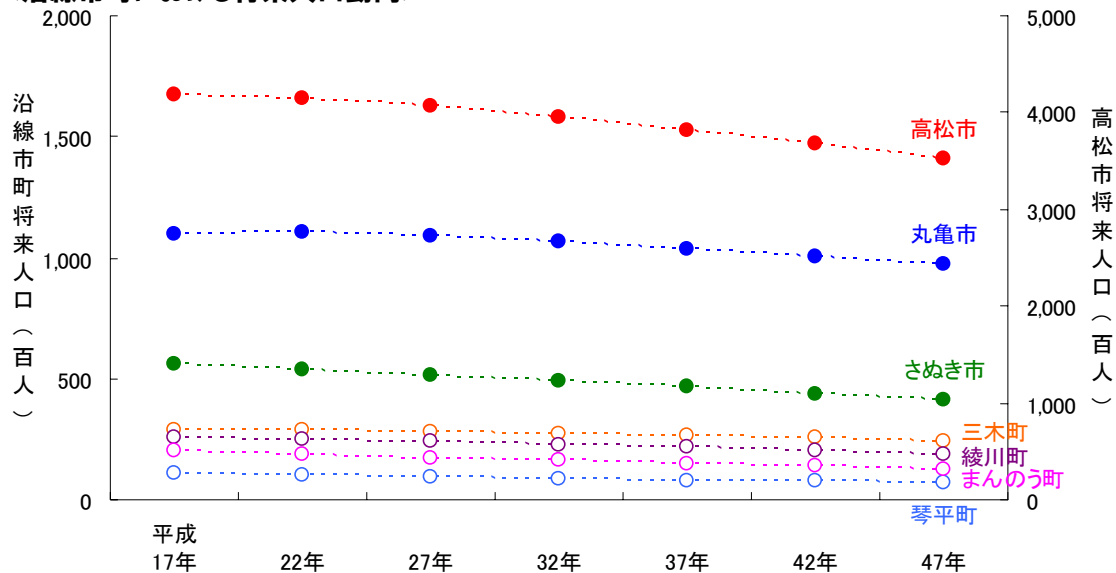


資料:国勢調査(昭和55年~平成17年)

## ②沿線市町の将来人口動向

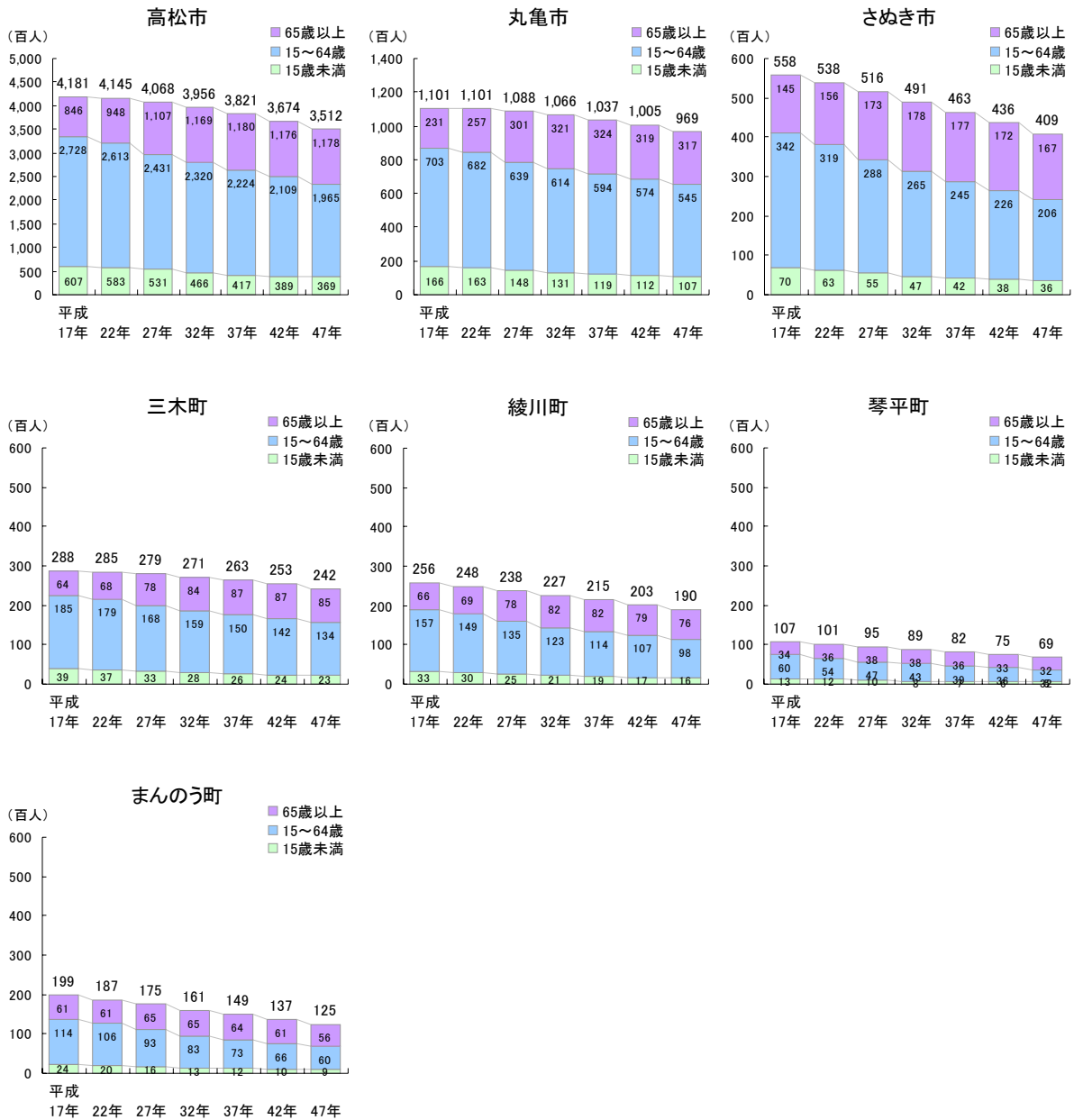
- ・国立社会保障・人口問題研究所による沿線市町の将来推計人口をみると、いずれも減少傾向にあります。
- ・年齢階層別にみると、今後、少子・高齢化が、急速に進行するものとなっています。

### <沿線市町における将来人口動向>



資料：国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

## <沿線市町における年齢区分人口の推移>



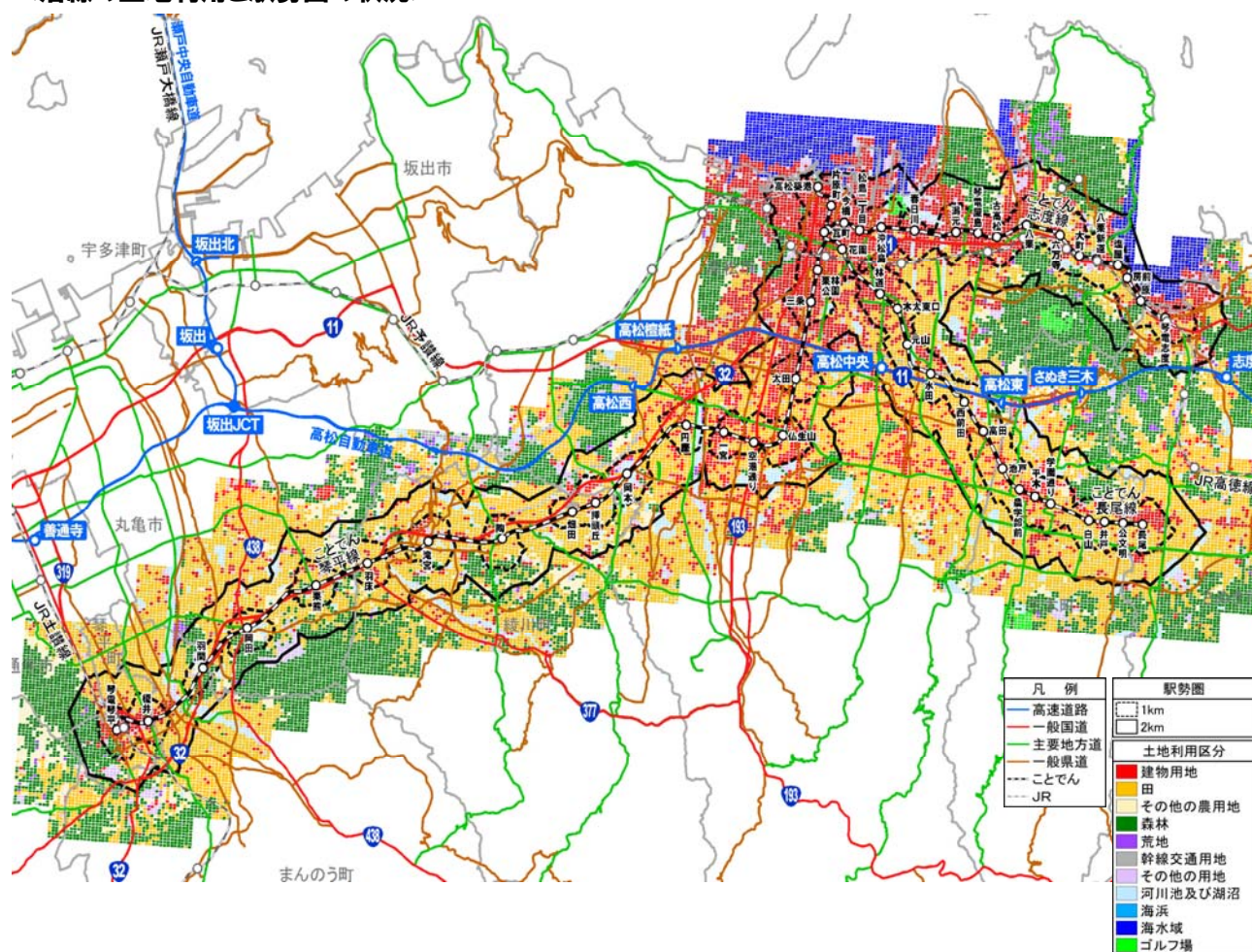
資料: 国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

## (2)沿線状況

### ①沿線の土地利用と駅勢圏の状況

- ・ことでん沿線の建物用地の分布をみると、琴平線では一宮駅、長尾線では木太東口駅、志度線では八栗駅まで市街地が連なっているほか、琴電琴平駅、琴電志度駅、長尾駅等の周辺でまとまった市街地が形成されています。また、そのほかにおいても、鉄道駅周辺に建物用地が点在している状況にあります。
- ・さらに、それらの市街地を取り囲むように、田地在広がっています。

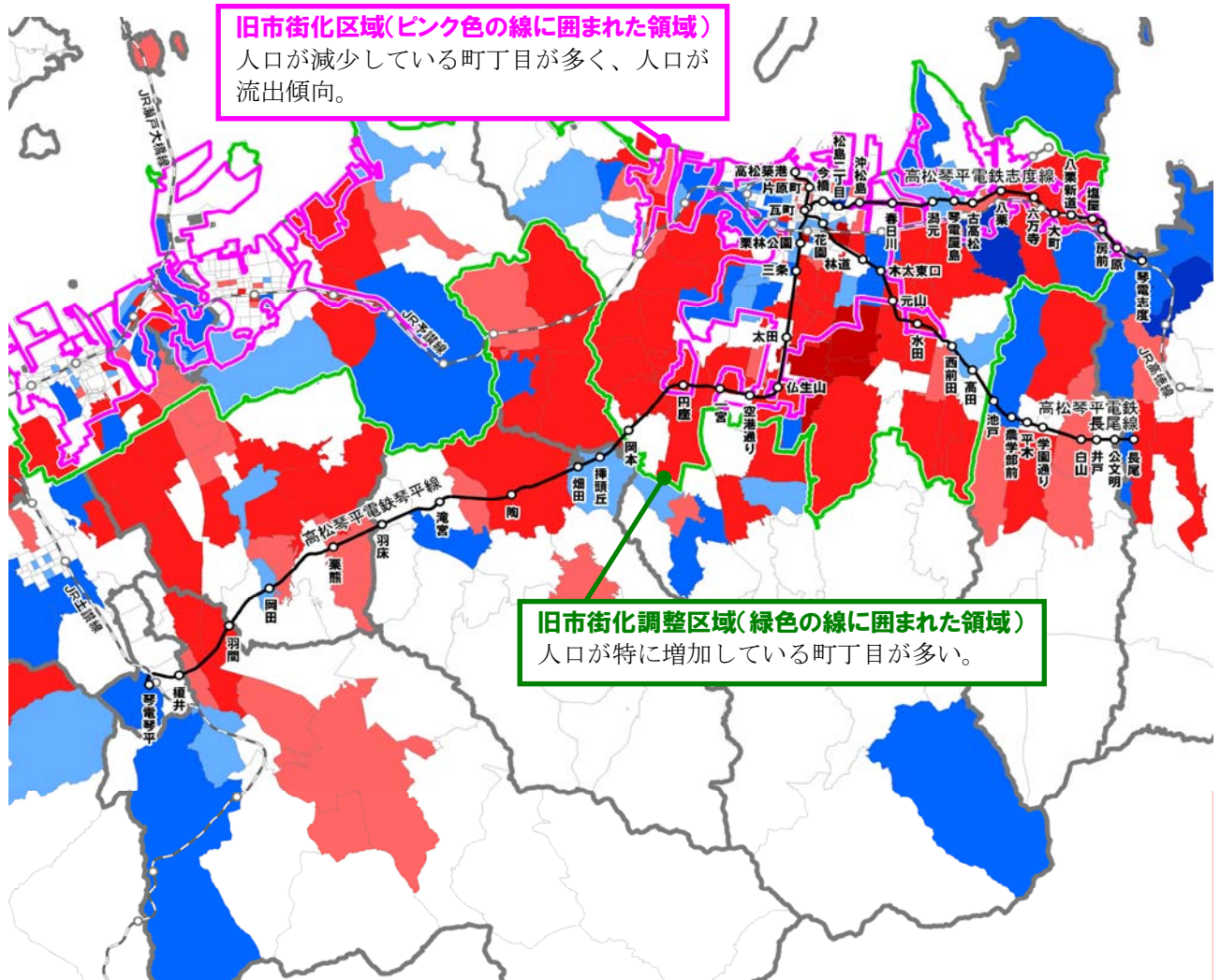
#### <沿線の土地利用と駅勢圏の状況>



## ②線引き制度廃止による影響(平成17年から平成21年にかけての町丁目別人口変動)

- ・香川県においては平成16年に線引き制度が廃止されました。
- ・この線引き廃止以降、旧市街化区域から旧市街化調整区域への人口転換が進行しました。
- ・平成17年から平成21年にかけての県内の町丁目別人口の増減をみると、ことடன்沿線直近の町丁目において増加がみられる箇所も存在しますが、若干離れた、徒歩圏外の町丁目での人口増加が顕著となっており、さらなる自動車依存傾向の高まりが懸念されます。

### <ことடன்沿線における町丁目別人口の変化(平成21年－平成17年)>

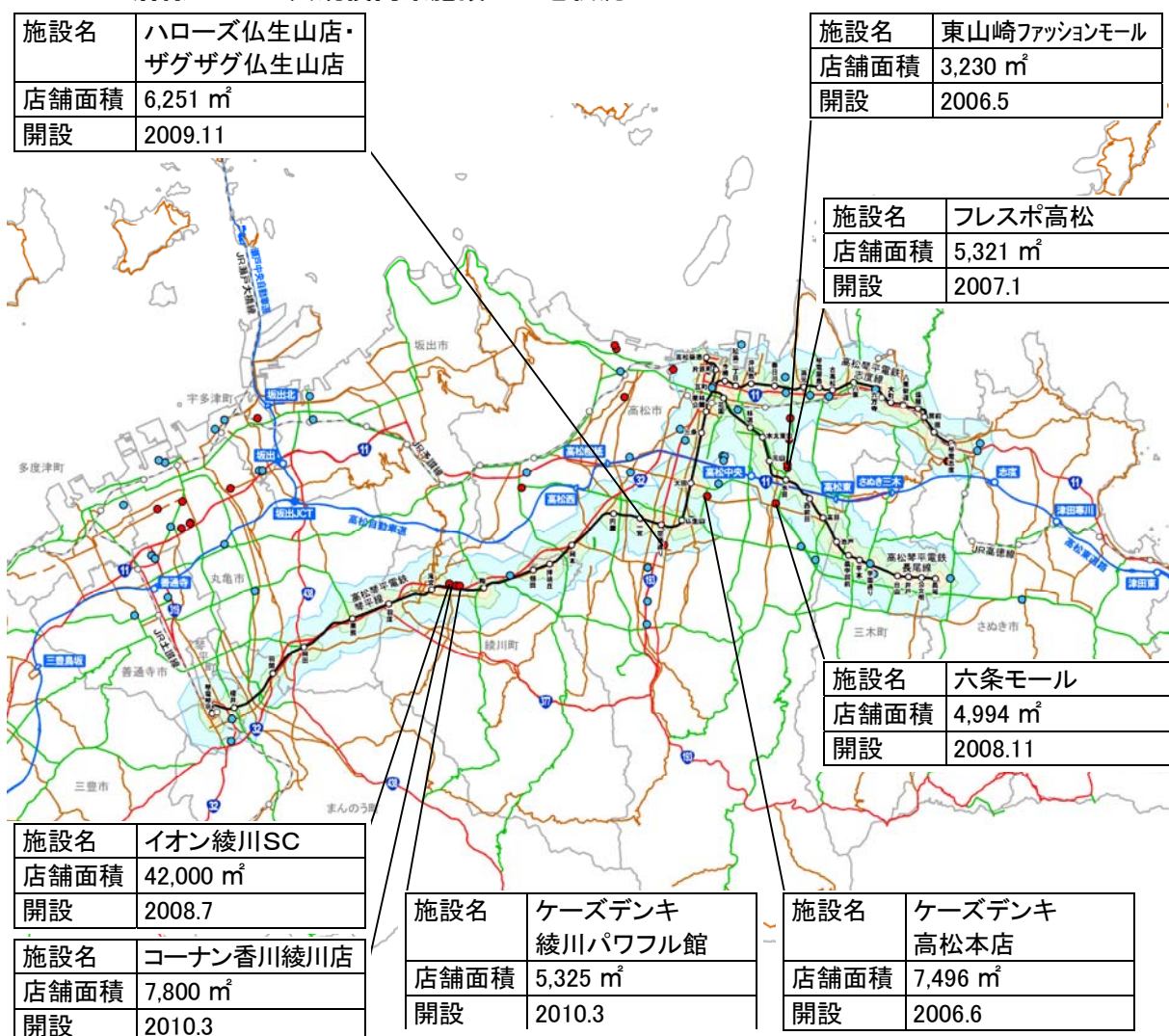


### ③沿線施設立地

#### 1)大規模商業施設

- ・平成12年に施行されたまちづくり3法（中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法、都市計画法）を背景に、郊外部において、大型小売店舗の立地が進行。（平成18年における改正以降抑制）
- ・近年5年間における大規模商業施設の立地箇所をみると、郊外部の幹線道路沿線を中心に立地が進んでいます。
- ・このため、例えば、陶駅と滝宮駅の間にイオン綾川SCが立地しましたが、いずれの駅からも1km遠隔地にあるなど、ことごとく需要を取り込みにくい状況にあります。

#### <ことごとく沿線における大規模商業施設の立地状況>

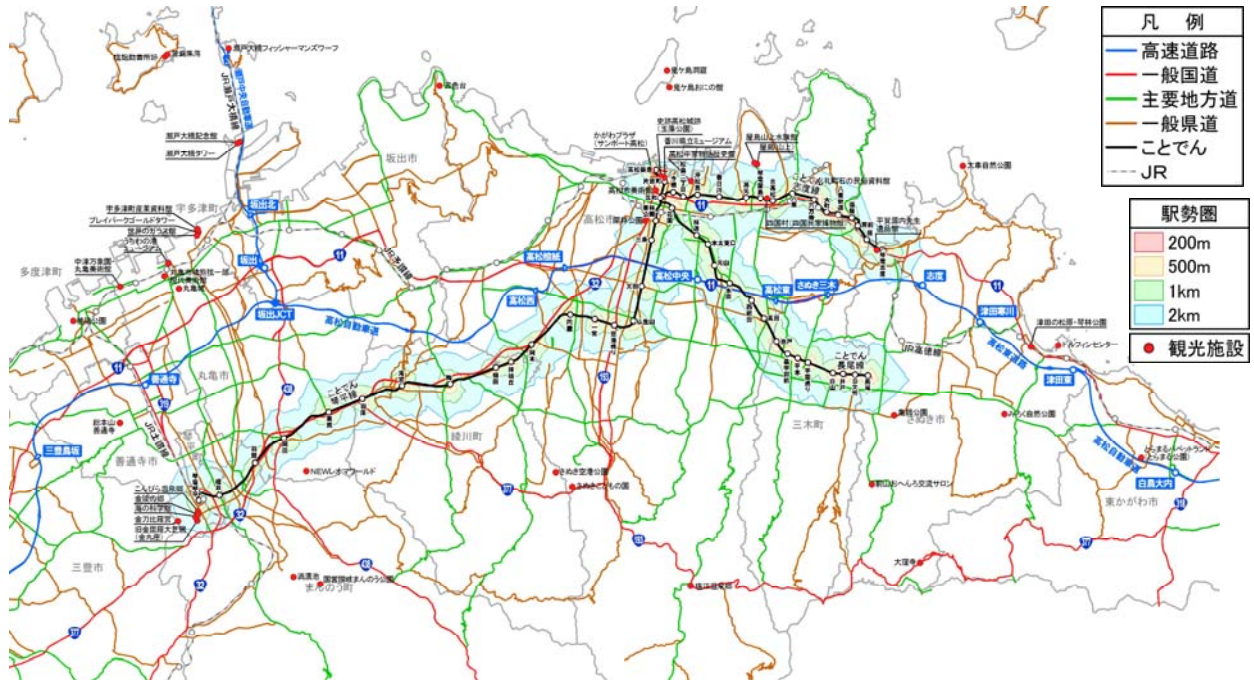


## 2) 観光施設

「香川観光ナビ」において観光施設の 카테고リーに設定されている施設を図化しました。

- ・高松市の観光施設は、中心市街地や琴平町のほかには、四国村、平賀源内先生遺品館等、限定的なものとなっています。

### <ことでん沿線における観光施設の立地状況>





### 3)その他の施設

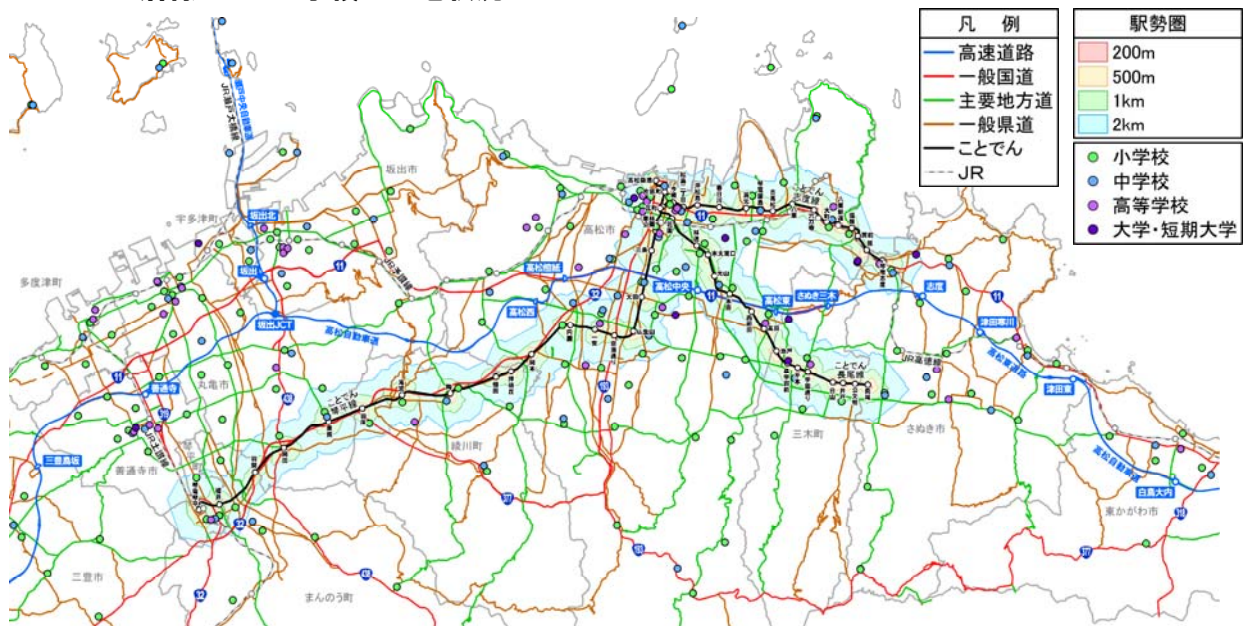
その他の施設として、行政施設、学校、病院、工業団地・工業用地等を見ました。

- ・行政施設については、丸亀市を除き比較的駅から近い位置に立地しています。
- ・学校のうち、大学については、香川大学の農学部は近接しているものの、香川大学のその他の学部やその他の大学は駅から離れた位置に存在しています。
- ・また、病院については、駅付近に立地している病院も多数存在しています。
- ・工業団地・工業用地については、駅から離れた位置に存在しています。

#### <ことでん沿線における行政施設の立地状況>

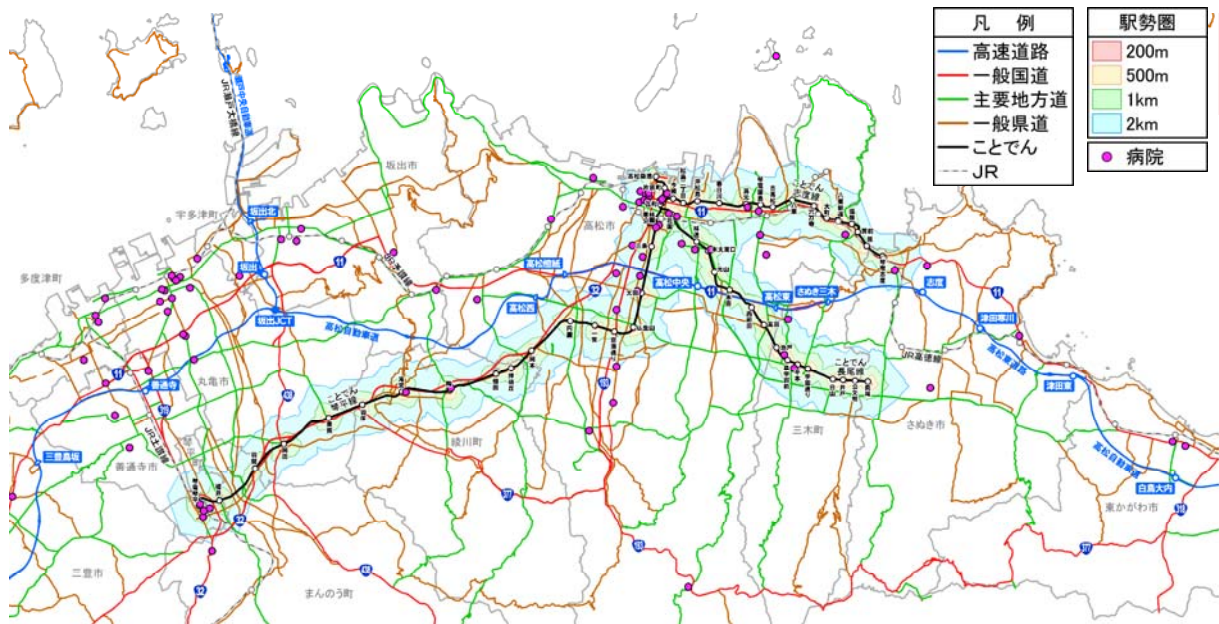


#### <ことでん沿線における学校の立地状況>

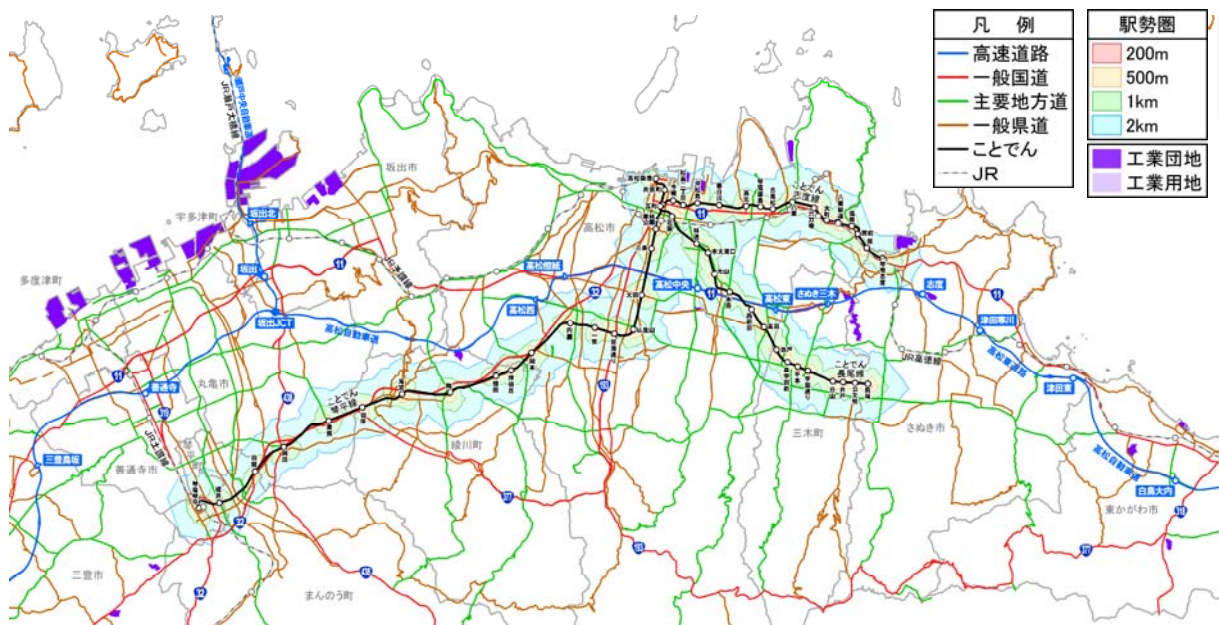


資料)国土数値情報公共施設データ(国土交通省国土計画局;平成18年度データ)

<ことでん沿線における病院の立地状況>



<ことでん沿線における工業団地・工業用地の立地状況>



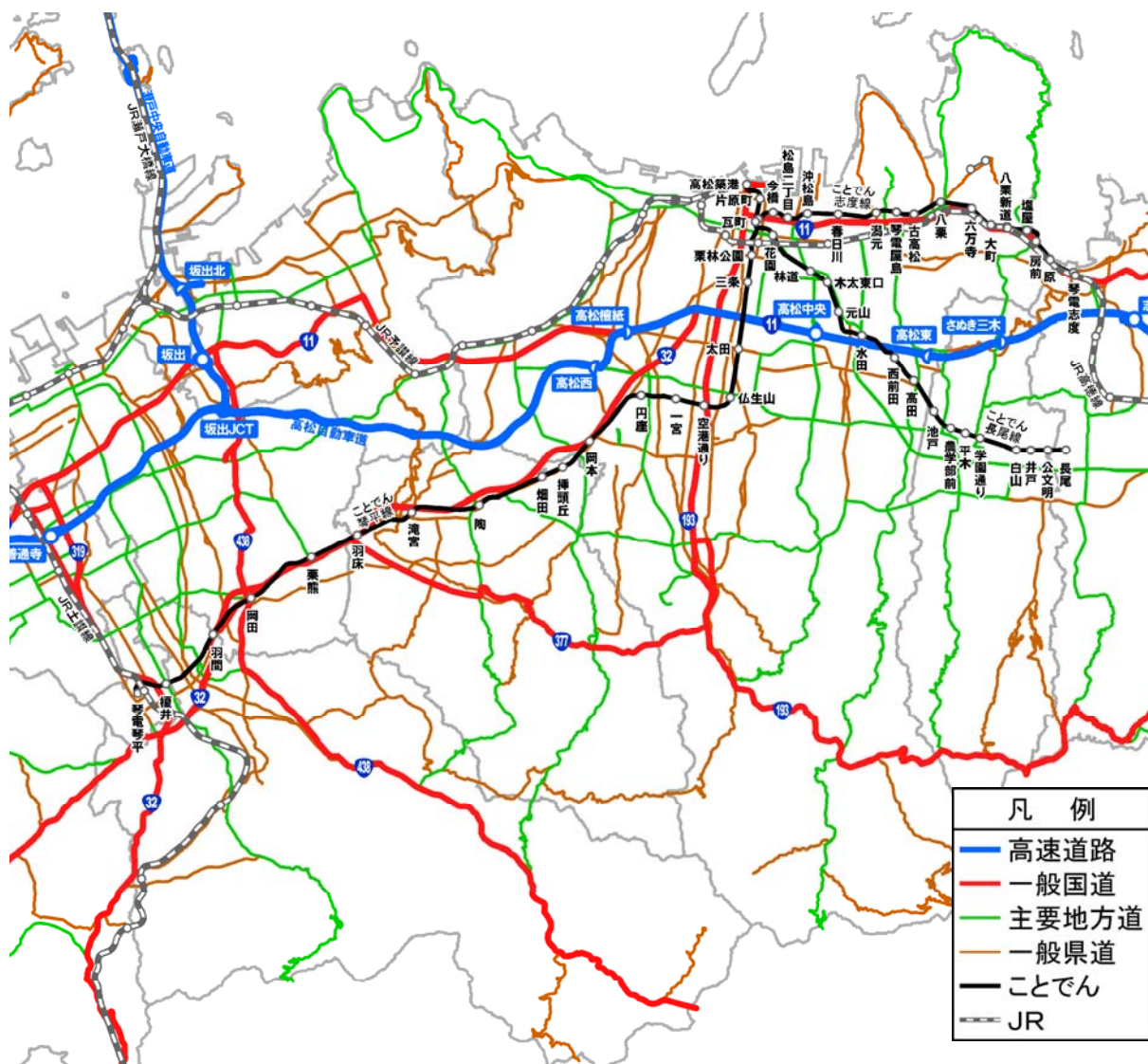
資料) 国土数値情報公共施設データ、工業用地データ

(国土交通省国土計画局; 公共施設は平成 18 年度データ、工業用地は平成 21 年度データ)

## 2-2. 道路網

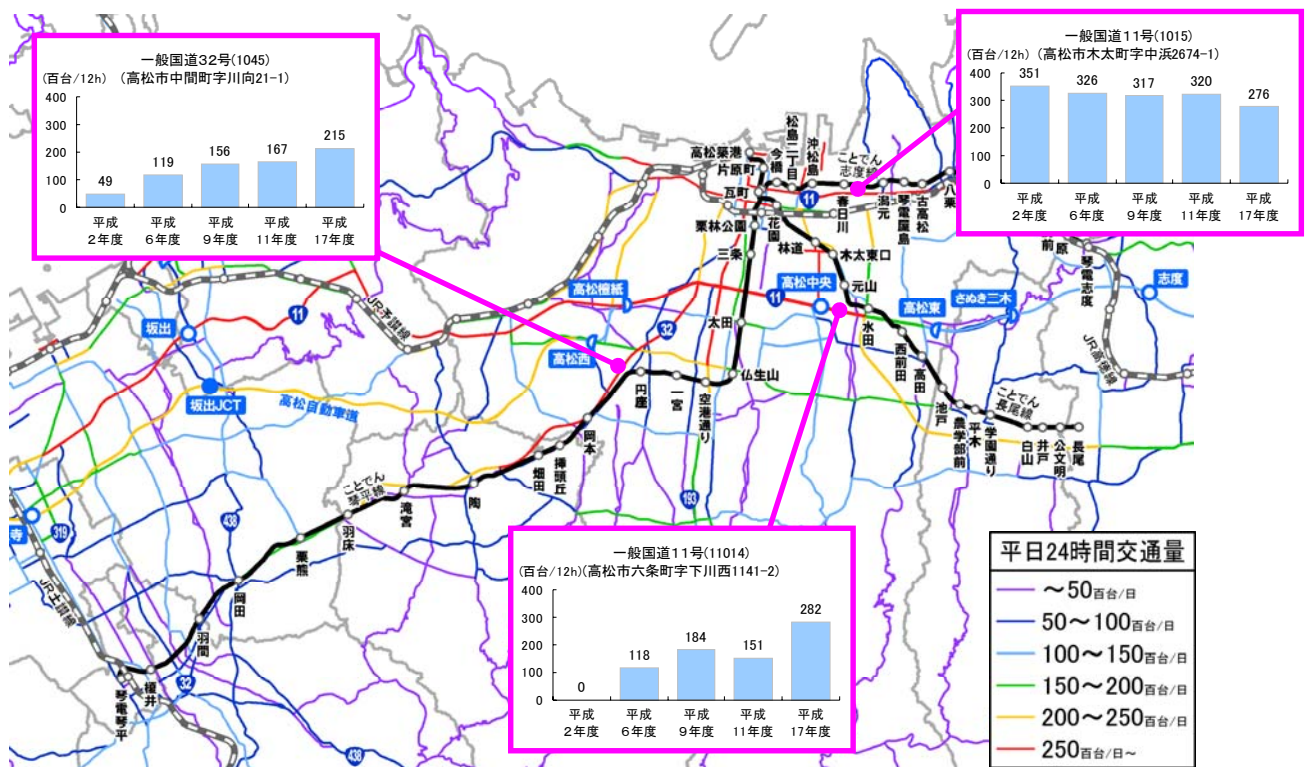
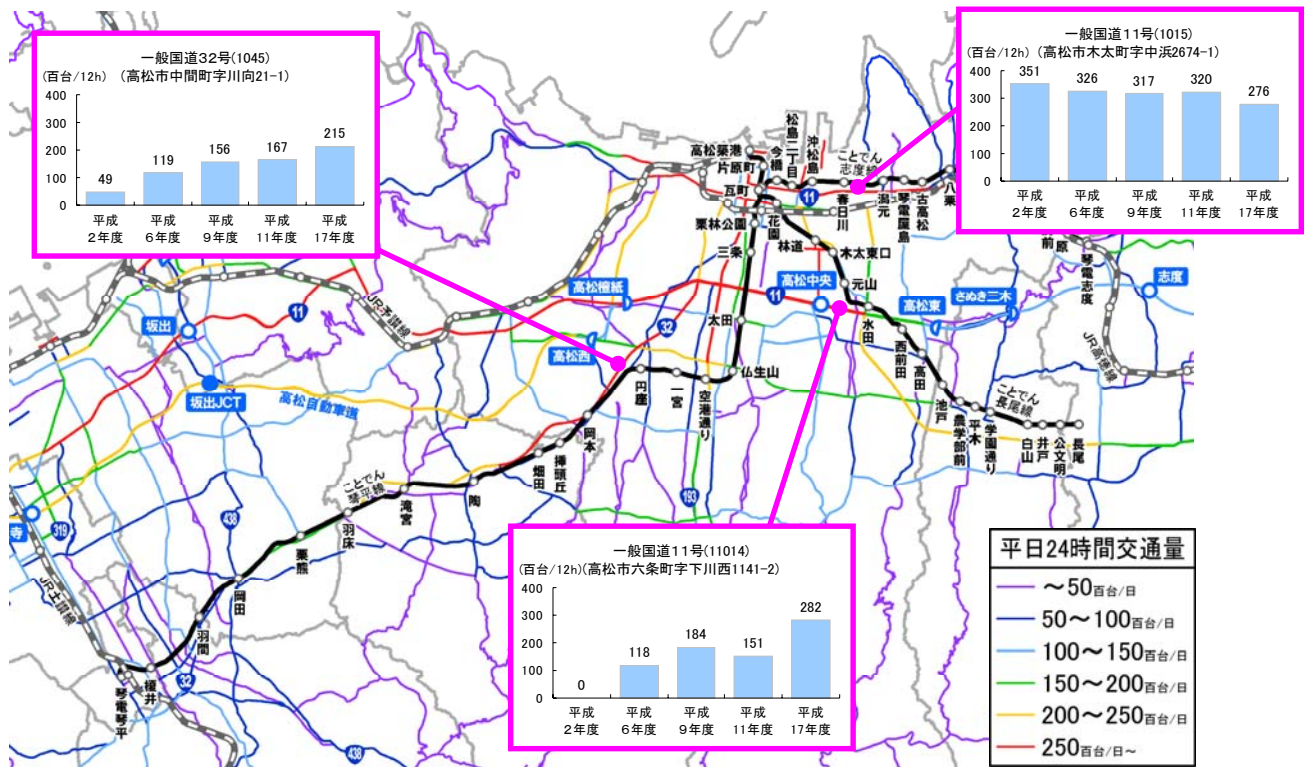
- ・ことでんは、高松市を中心として、放射状に路線網が形成されていますが、いずれの路線も、幹線道路と競合関係にあります。
- ・これらの幹線道路については、その路線もしくは周辺路線の整備が進められることにより、混雑が改善されるなど、自動車の利用環境が向上しており、沿線地域における、さらなる自動車依存傾向の高まりが懸念されます。

### <ことでんと道路網の位置関係>



資料)平成 17 年道路交通センサス

## <ことごとと並行する道路における交通量の変化>



資料) 平成17年道路交通センサス

## 2-3. ことでの概要

### (1) ネットワーク

#### ① 路線網

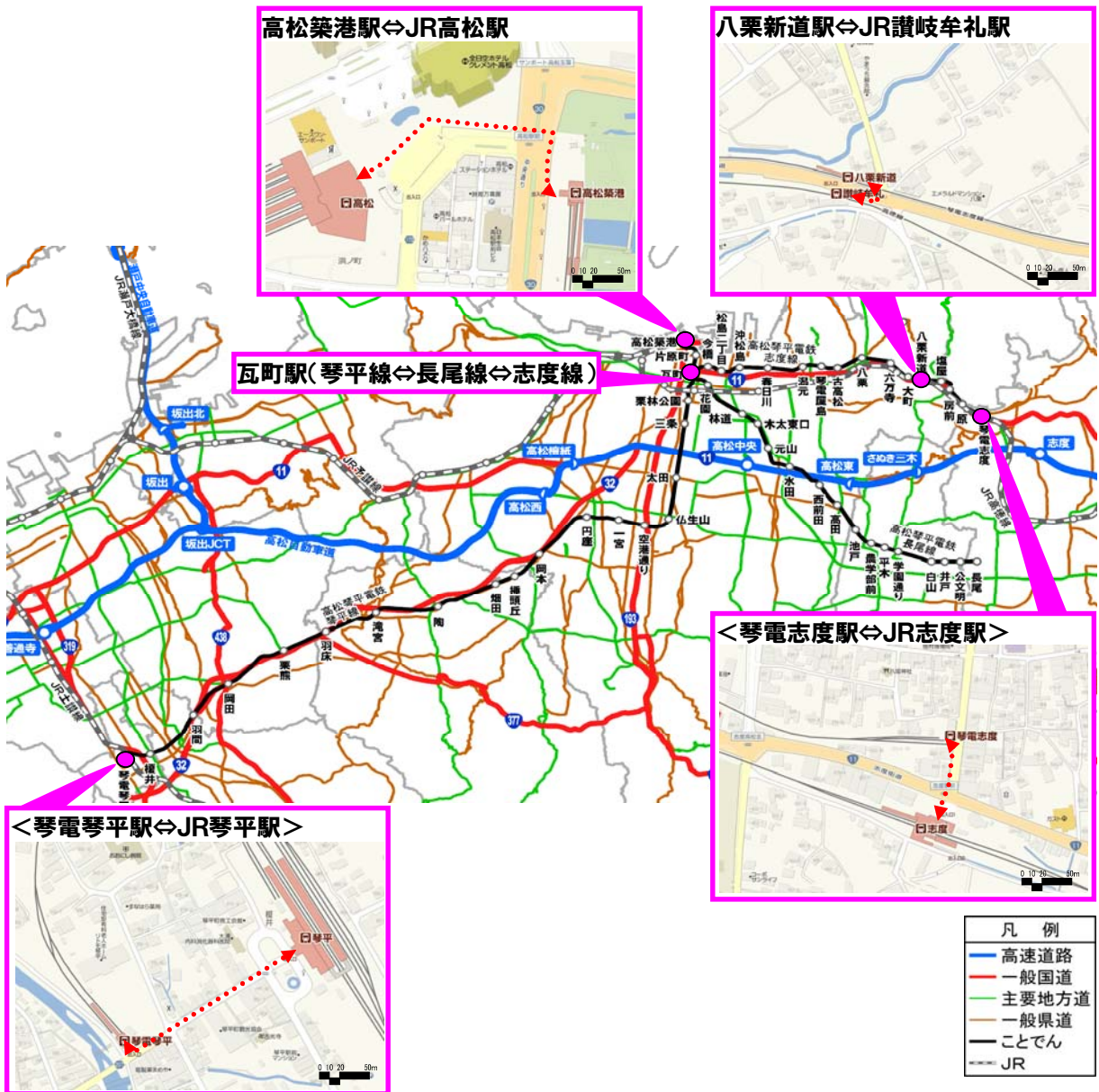
- ・ ことでは、琴平線、長尾線、志度線の3路線で構成され、瓦町駅から3路線が分岐して、各々琴平町、旧長尾町（現さぬき市）、旧志度町（現さぬき市）を結ぶものとなっています。

#### ② 他の公共交通との乗り継ぎ

##### 1) 鉄道間の乗り継ぎ

- ・ ことでんとJRは、高松築港駅、琴電琴平駅、八栗新道駅、琴電志度駅で接続しています。
- ・ しかし、高松築港駅とJR高松駅で300m程度、琴電琴平駅とJR琴平駅で200m程度、八栗新道駅とJR讃岐牟礼駅で100m弱、琴電志度駅とJR志度駅で100m程度の距離があります。さらに、琴電琴平駅を除いて、駅間が幹線道路で分断されており、乗り継ぎ環境は良好とはいえません。
- ・ また、ことでは、瓦町駅で琴平線、長尾線、志度線が接続しているため、相互に乗り継ぎが必要になります。特に、志度線については、瓦町駅を起点としているため、高松築港駅もしくは片原町駅に向かう際に、琴平線もしくは長尾線に乗り継ぐことが必要となっています。

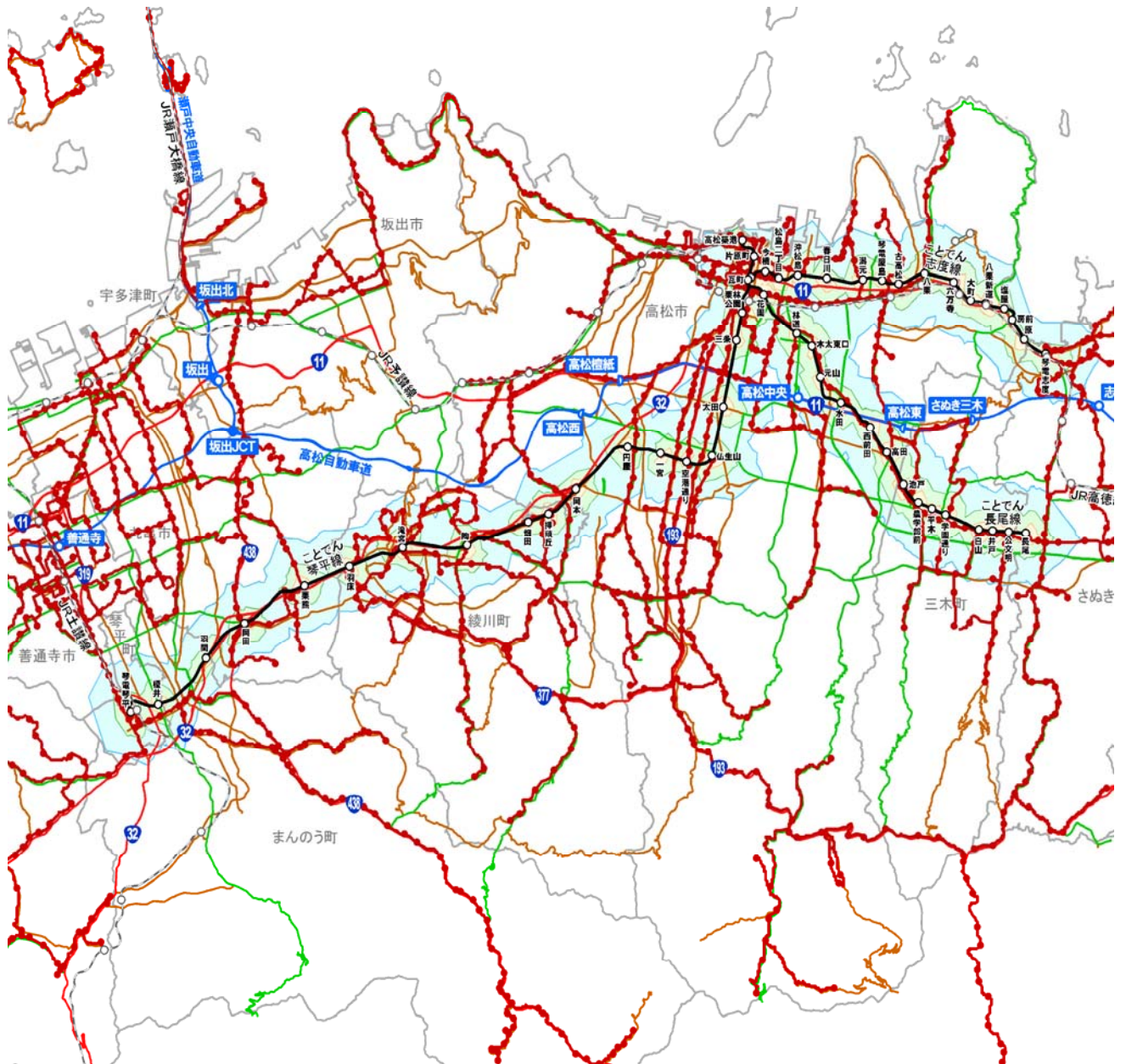
<ことでの路線網と鉄道間の乗り継ぎ箇所>



## 2) 鉄道とバス間の乗り継ぎ

- ・ことでんと路線バスとの乗り継ぎについては、県内の路線バス網がJR高松駅を中心とする放射状の網体系となっているため、高松築港駅と瓦町駅が中心で、多くの駅ではバス路線が駅付近を通過するのみとなっています。
- ・ことでんの駅が起終点となっているのは、7駅のみとなっています。
- ・そのうち、そのうち、高松築港駅、瓦町駅を除く駅では、駅前広場が存在していません。

### <バス路線網図>



資料)各事業者及び自治体ホームページ

<バスとの接続>

	設置駅	バス事業者	バス停名	バス起終点	駅前広場の有無
琴 平 線	高松築港	ことでんバス 大川バス	高松駅、高松築港	●	無
	片原町	ことでんバス	片原町駅前		無
	瓦町	ことでんバス	瓦町天満屋	●	有
		大川バス	瓦町		
	栗林公園	ことでんバス	高松一高前		無
	三条	ことでんバス	上之町		無
	太田	ことでんバス	太田		無
	仏生山	ことでんバス(香川町シャトルバス)	仏生山	●	無
	空港通り	香川町コミュニティバス	空港通り駅	●	無
	円座	ことでんバス	ことでん円座駅前		無
	岡本	国分寺町コミュニティバス	岡本駅前		無
	挿頭丘	綾川町町営バス	かざし丘駅前		無
	畑田	綾川町町営バス	田池		無
	陶	綾川町町営バス	陶駅前		無
	滝宮	綾川町町営バス	端/新町		無
	羽床	綾川町町営バス	羽床駅前		無
	栗熊	琴参バス(丸亀コミュニティバス線)	琴電栗熊駅		無
	岡田駅	琴参バス(丸亀コミュニティバス線)	琴電岡田駅		無
	榎井	琴参バス	榎井		無
	琴電琴平	琴参バス	琴電前		無
三豊市コミュニティバス		琴電琴平駅			
長 尾 線	花園	ことでんバス 大川バス	花園町		無
	林道	ことでんバス 大川バス	札幌		無
	木多東口	大川バス	木多東口		無
	元山	大川バス	元山		無
	水田	大川バス	水田		無
	西前田	大川バス	前田橋		無
	高田	ことでんバス	ことでん高田駅	●	無
		大川バス	高田		
	池戸	大川バス	池戸		無
	農学部前	大川バス	農学部前		無
	平木	大川バス	三木町役場前		無
		大川バス(三木町コミュニティバス)			
	学園通り	大川バス(三木町コミュニティバス)	学園通り駅	●	無
	白川	大川バス	白山		無
	井戸	大川バス	真行寺		無
公文明	大川バス	井戸		無	
長尾	大川バス	大川バス本社前	●	無	
	大川バス(さぬき市コミュニティバス)				
志 度 線	今橋	ことでんバス	市民文化センター前		無
	松島二丁目	ことでんバス	高松中央高校前		無
	沖松島	ことでんバス	市立体育館前		無
	瀧元	ことでんバス	瀧元		無
	琴電屋島	ことでんバス	ことでん屋島駅		無
	古高松	ことでんバス	古高松		無
	八栗	ことでんバス	ことでん八栗駅前		無
	琴電志度 (JR志度)	大川バス(さぬき市コミュニティバス)	琴電志度駅 JR志度駅		無

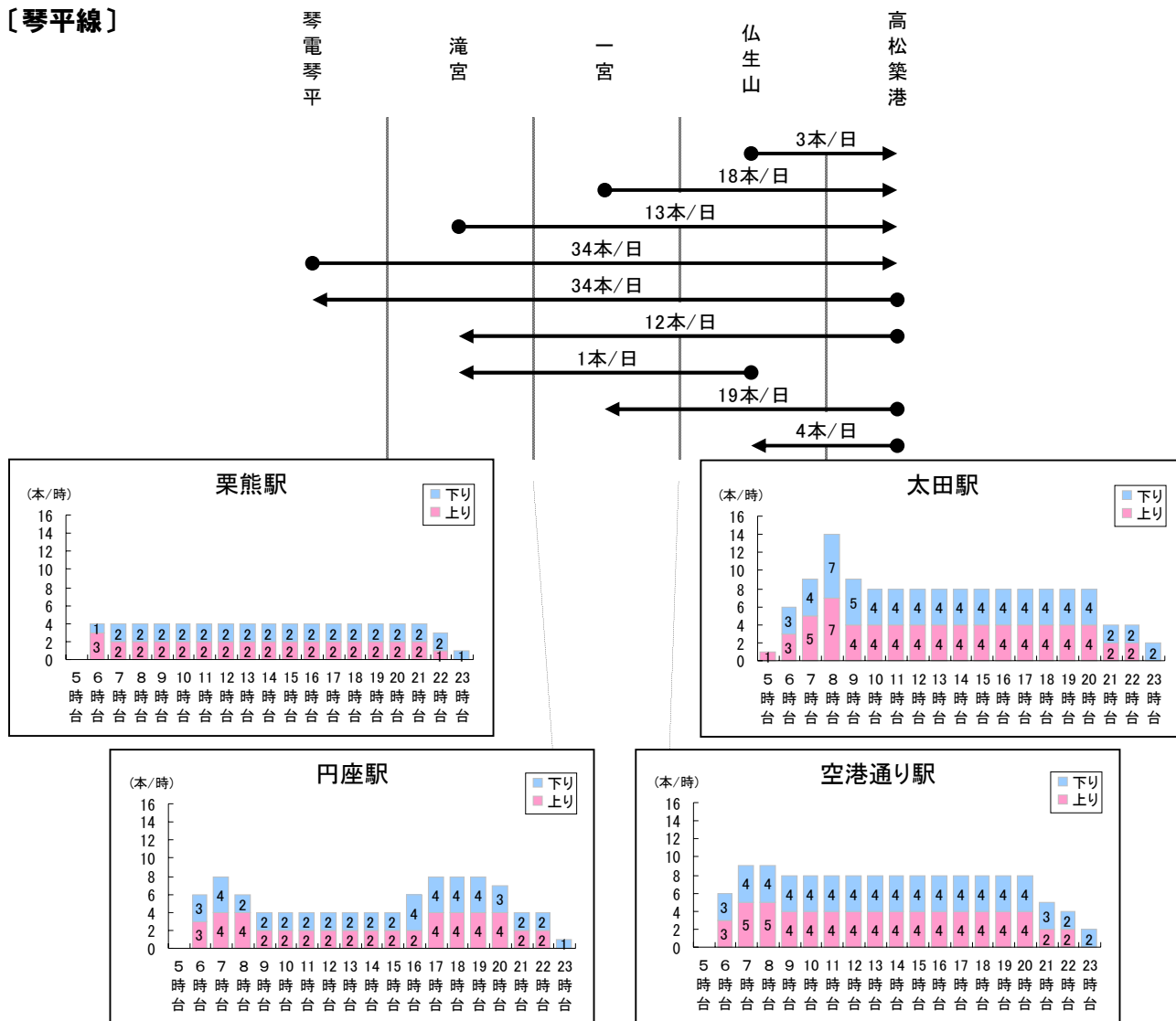


## (2)運行サービス状況(平成 22 年 12 月 18 日改正)

- ・現況のことでんの運行頻度をみると、琴平線はオフピーク時に 4 本/時運行、長尾線、志度線については 3 本/時運行しています。
- ・ただし、琴平線については、滝宮駅や一宮駅を発着駅にしている便も多く、琴平から滝宮駅もしくは一宮駅の頻度は少なくなっています。
- ・また、夜間 21 時以降は、いずれも 2 本/時の運行へと頻度が減少することに加え、最終便も比較的早い時間帯に運行するものとなっています。
- ・なお、最終便の延長のため、平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月において、毎週金曜日に臨時便を運行していますが、通常最終便と臨時便における時間の間隔（琴平線：下り；45 分、上り；38 分、長尾線：下り；43 分、上り；37 分、志度線：下り；48 分、上り；22 分）が離れており、通常最終便に乗り遅れた者は臨時便までの時間を待たざるを得ない状況にあります。

### <ことでの運行頻度(平日)>

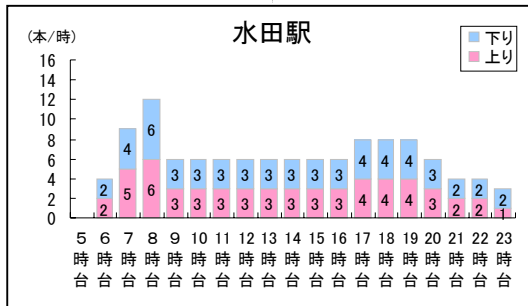
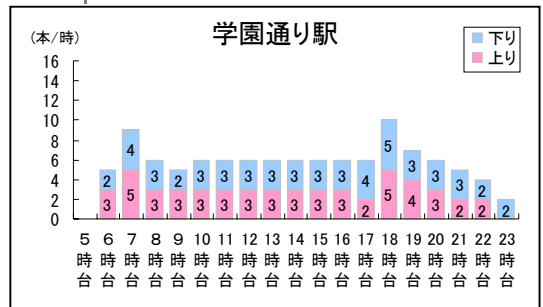
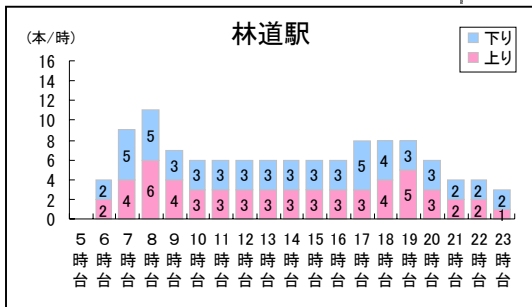
#### [琴平線]



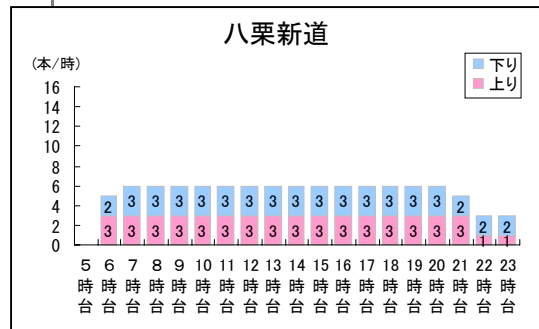
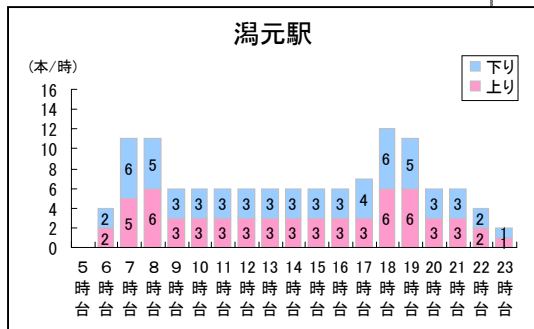
資料)ことでんホームページ(平成 22 年 12 月 18 日現在)  
注)金曜日の臨時便を含む

<ことでの運行頻度(平日)>

[長尾線]



[志度線]

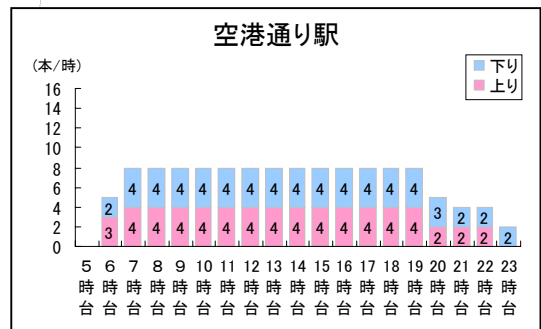
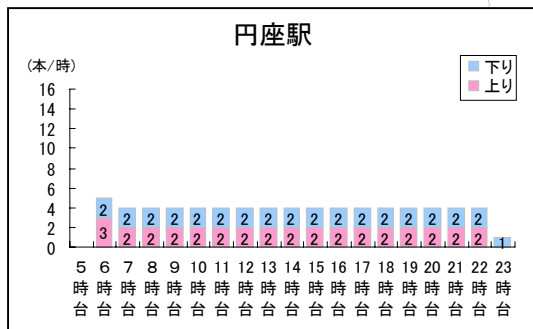
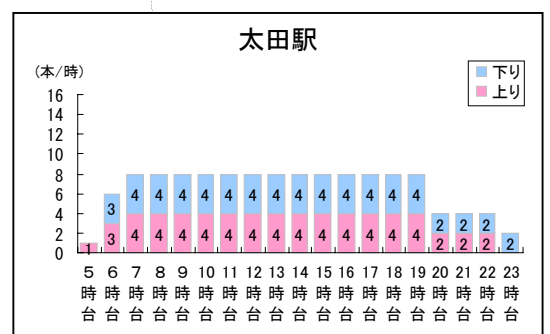
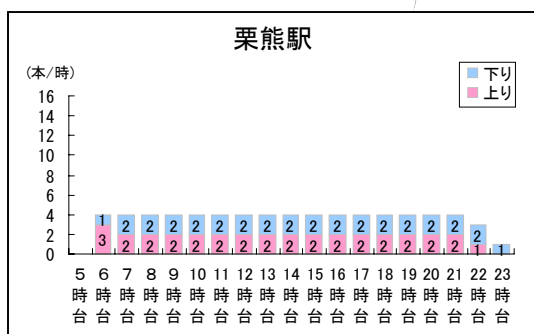
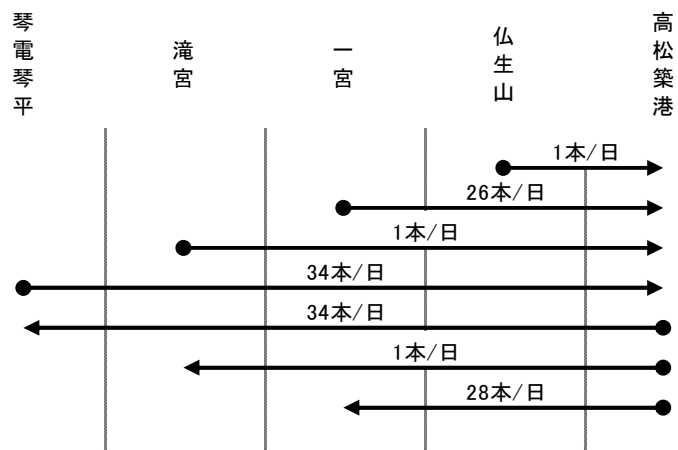


資料)ことでんホームページ(平成22年12月18日現在)

注)金曜日の臨時便を含む

<ことでの運行頻度(休日)>

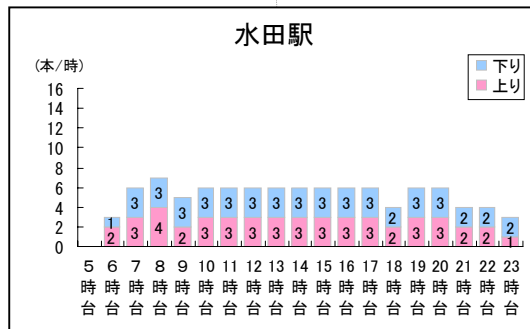
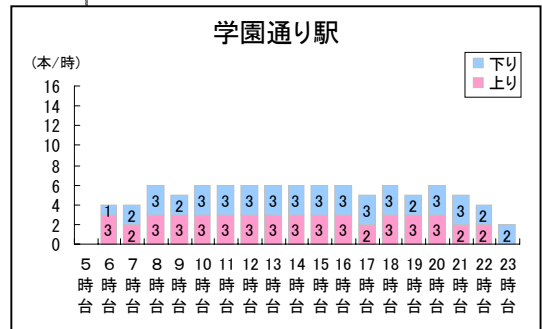
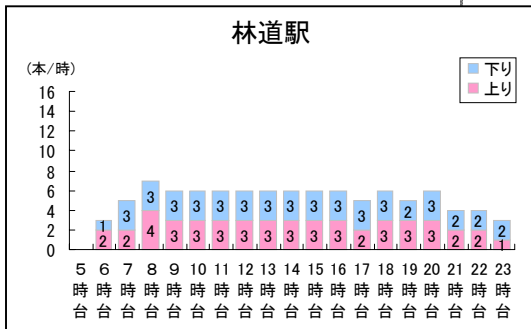
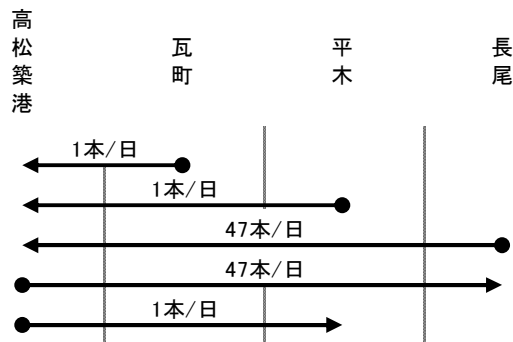
[琴平線]



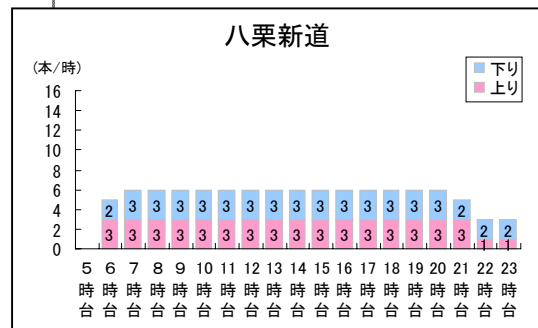
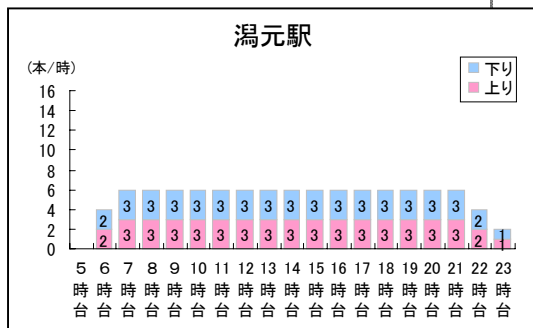
資料)ことでんホームページ(平成22年12月18日現在)

<ことでの運行頻度(休日)>

[長尾線]



[志度線]



資料)ことでんホームページ(平成22年12月18日現在)

### (3) 駐車場・駐輪場

#### ① パーク&ライド駐車場

- ・郊外部の駅を中心に、パーク&ライド駐車場が設置されています。
- ・ことでもしくは行政によるパーク&ライド駐車場の状況は以下の通りとなっており、月極めで3,000～4,000円/月、一時預かりで300円/日程度（羽間駅P&R駐車場は無料）と、低価格のサービスにより、利用率は比較的高い。

#### <ことでもしくは行政によるパーク&ライド駐車場の状況>

	駐車場名	設置駅	収容台数(台)	契約台数(台)	月極め契約率	料金		
						月極め(円/月)	一時預かり(円/日)	一時預かり(円/時間)
琴平線	市立空港通り駅 P&R駐車場	空港通り	109	100	91.7%	3,000	—	—
	ことでん栗熊駅 パーク&ライド駐車場	栗熊	35	25	71.4%	3,000	300	—
	ことでん岡田駅 パーク&ライド駐車場	岡田	94	54	57.4%	3,000	300	—
	羽間駅P&R駐車場	羽間	52	—	—	無料	無料	無料
	ことでん琴平駅 パーク&ライド駐車場	琴電琴平	44	44	100.0%	3,000	300	—
長尾線	ことでん高田駅 パーク&ライド駐車場	高田	28	28	100.0%	3,000	300	—
	三木町 パーク&ライド駐車場	学園通り	53	44	83.0%	4,000	—	—
	ことでん長尾駅 パーク&ライド駐車場	長尾	28	28	100.0%	3,000	300	—
志度線	ことでん志度駅 パーク&ライド駐車場	琴電志度	51	※	※	3,000	300	100

資料)香川の乗り物ナビホームページ(平成21年2月16日現在)

※ことでん志度駅パーク&ライド駐車場については、平成21年2月16日以降の供用

## ② 駅駐輪場

・ことでの各駅において、駐輪場が確保され、利用率は高い。

### <駅前駐輪場の様子>

〔三条駅〕



〔太田駅〕



〔円座駅〕



〔仏生山駅〕



〔林道駅〕



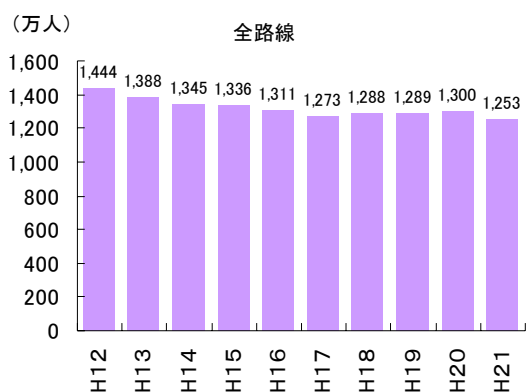
## (4)利用者数

### ①利用者数の推移

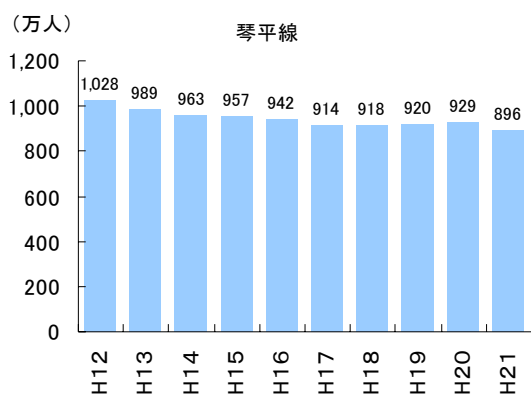
- ・ことでの年間利用者数の推移をみると、減少が継続しています。
- ・路線別にみると、長尾線が横ばい傾向にあるものの、琴平線、志度線は減少傾向にあります。

#### <ことでの日平均利用者数の推移>

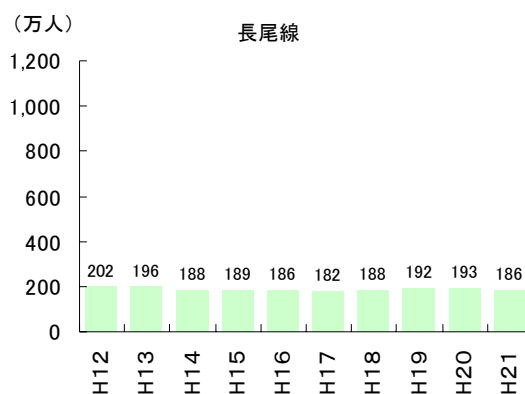
##### [全路線]



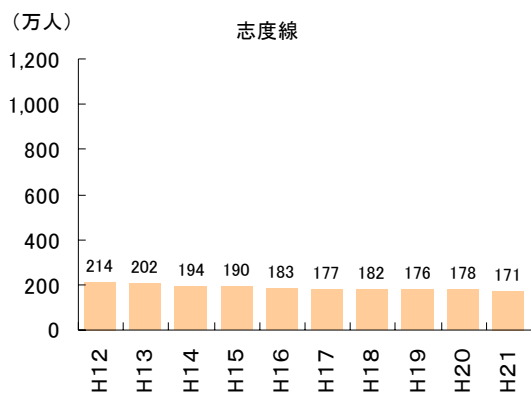
##### [琴平線]



##### [長尾線]



##### [志度線]



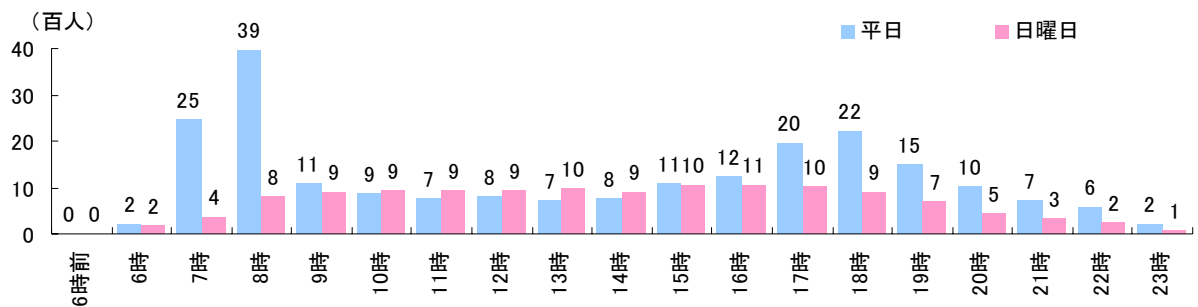
資料)ことでん提供資料  
注)高松築港～瓦町

## ②時間帯別利用者数

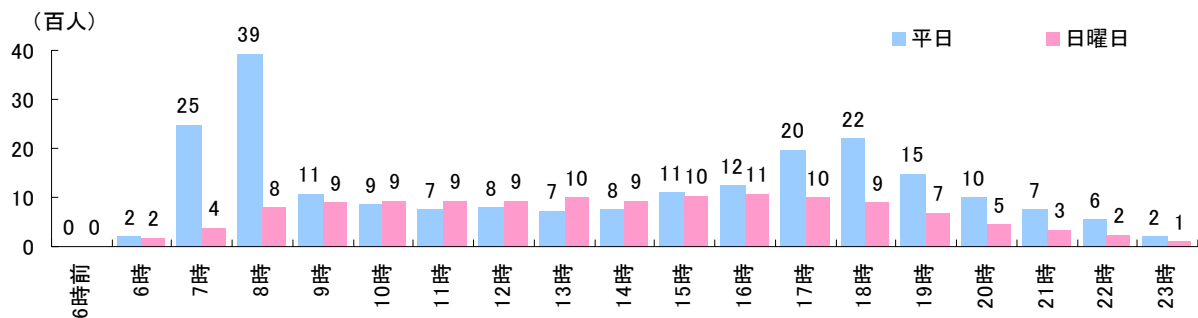
- ・平日及び日曜日の駅別乗車時間帯別利用者数を見たところ、いずれの路線についても、平日は朝と夕方の出勤・帰宅時間帯に利用者数が増加する傾向にあります。
- ・昼間時間帯については、日曜日の利用が多くなっています。

### <時間帯別利用者数(平成21年度)>

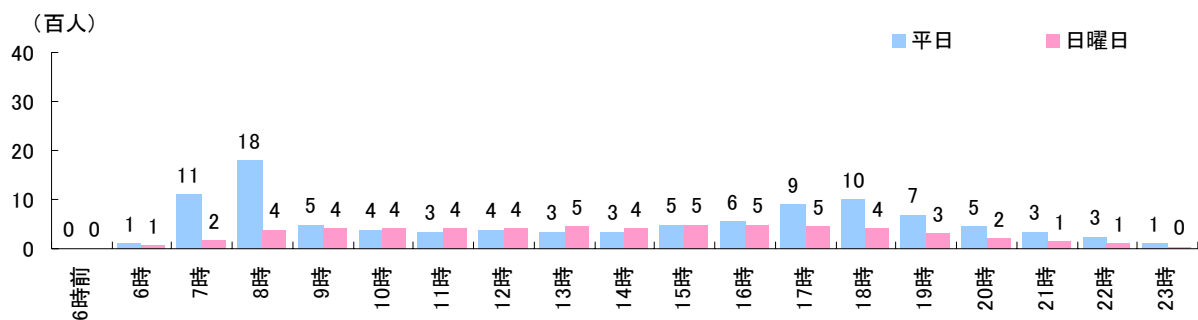
#### [全運行区間]



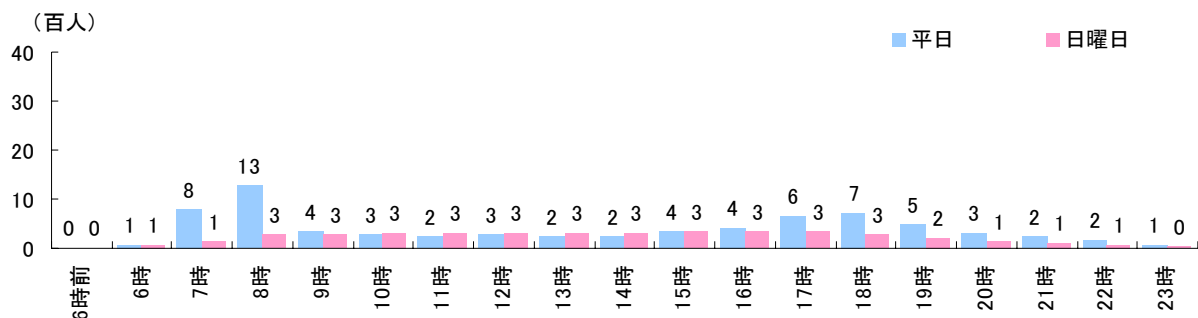
#### [琴平線]



#### [長尾線]



#### [志度線]



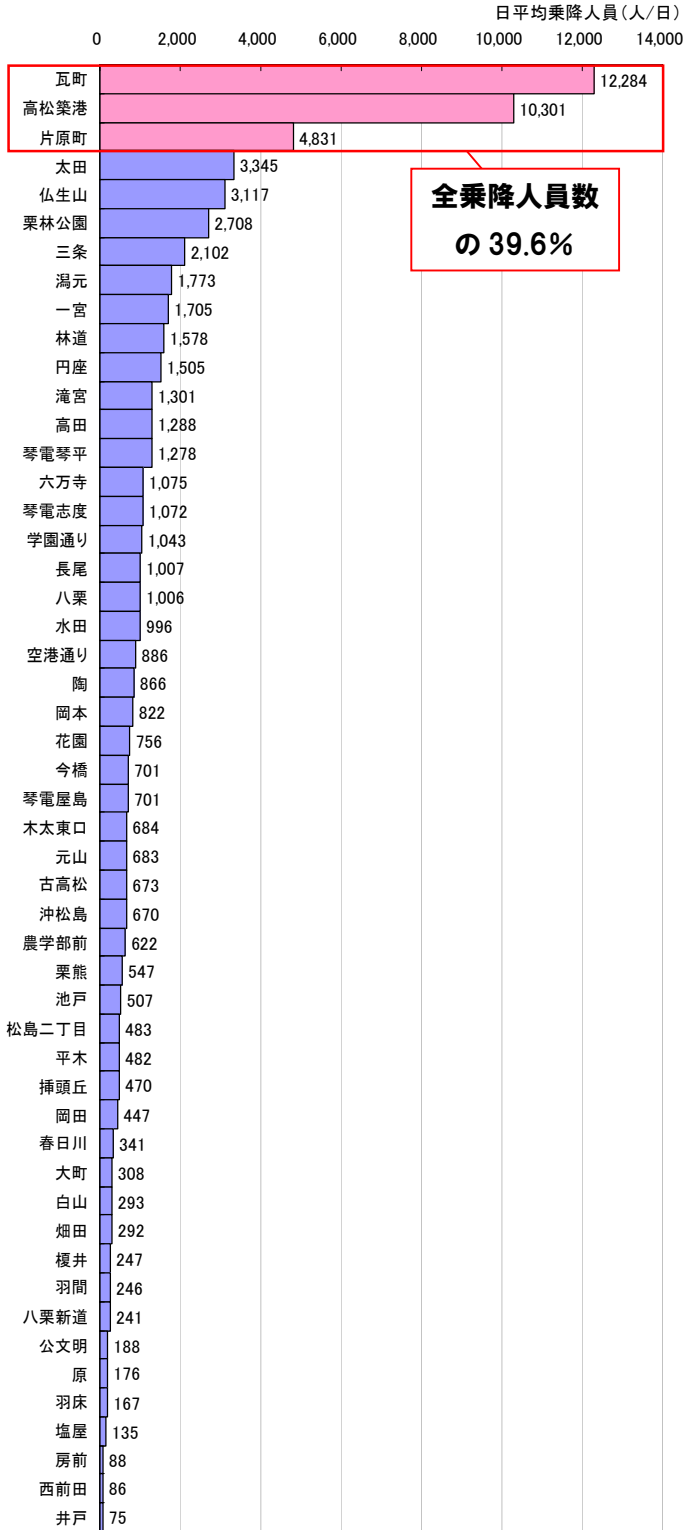
資料)ことでん提供資料(平成21年データ)



### ③ 駅別利用者数

・高松築港、片原町、瓦町の3駅の日平均乗降人員数は、ことでの全乗降人員数の約39.6%を占めるものとなっています。

<ことでの駅別の日平均乗降人員数(平成21年度:数の大きい駅から整理)>

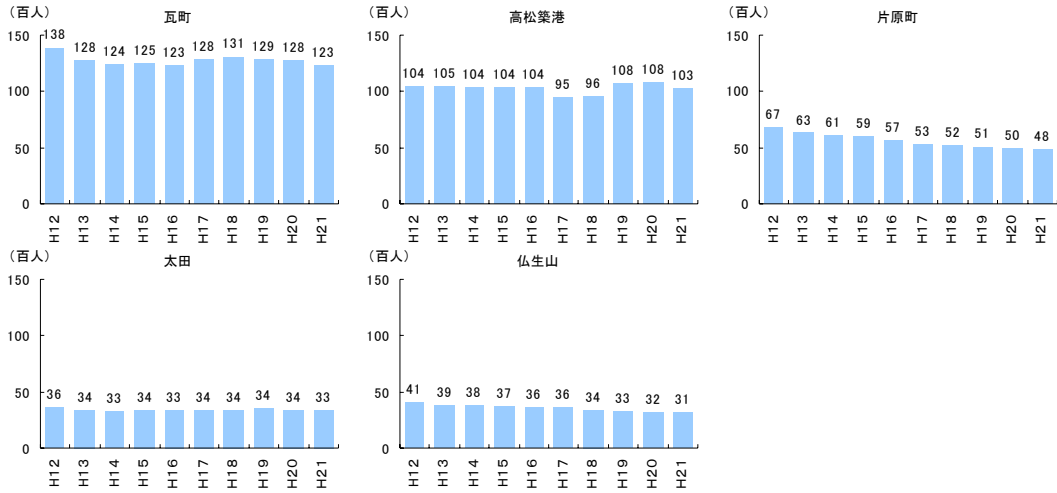


資料)ことでん提供資料

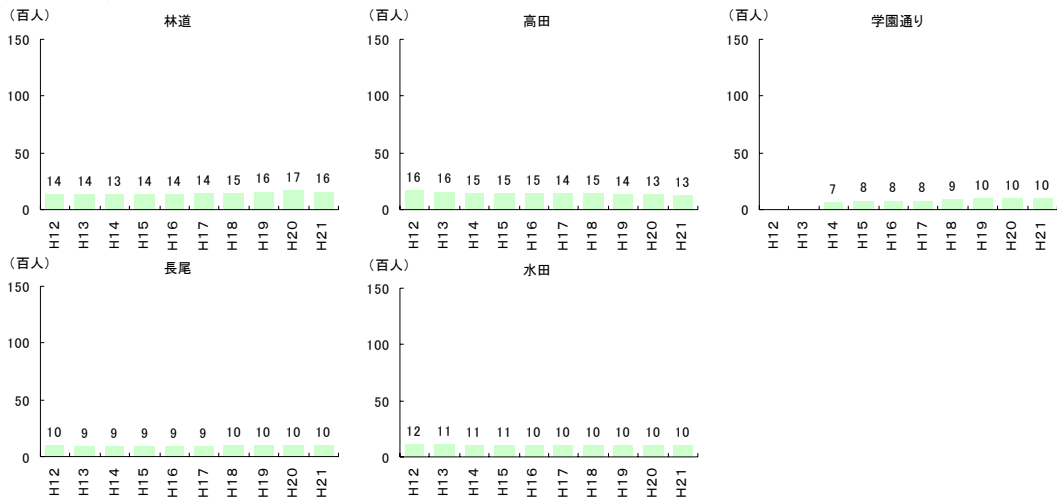
・ 駅別の日平均乗降人員数の推移をみると、上位3駅では、高松築港駅は横ばい、片原町駅は減少傾向、瓦町駅は微減傾向にあります。

< 駅別の日平均乗降人員数(平成 21 年度)>

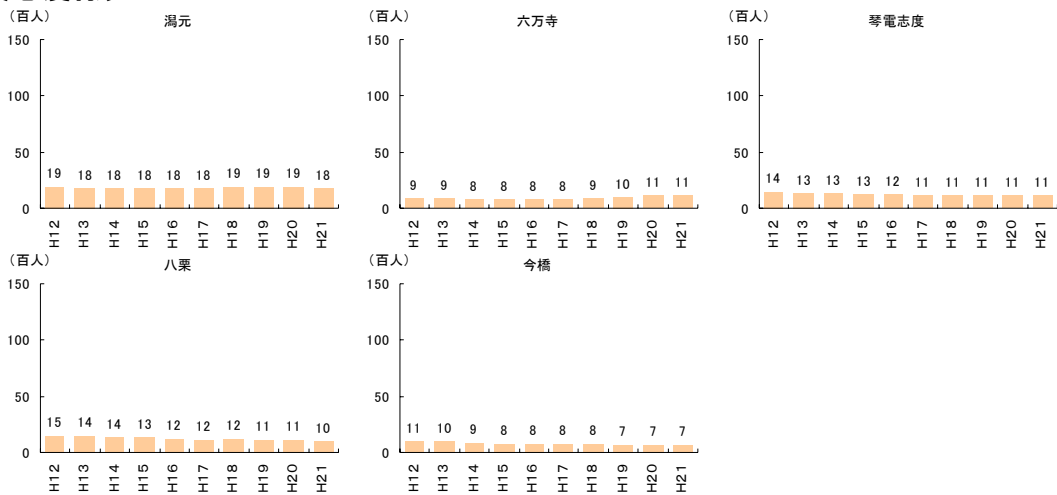
〔琴平線〕



〔長尾線〕



〔志度線〕

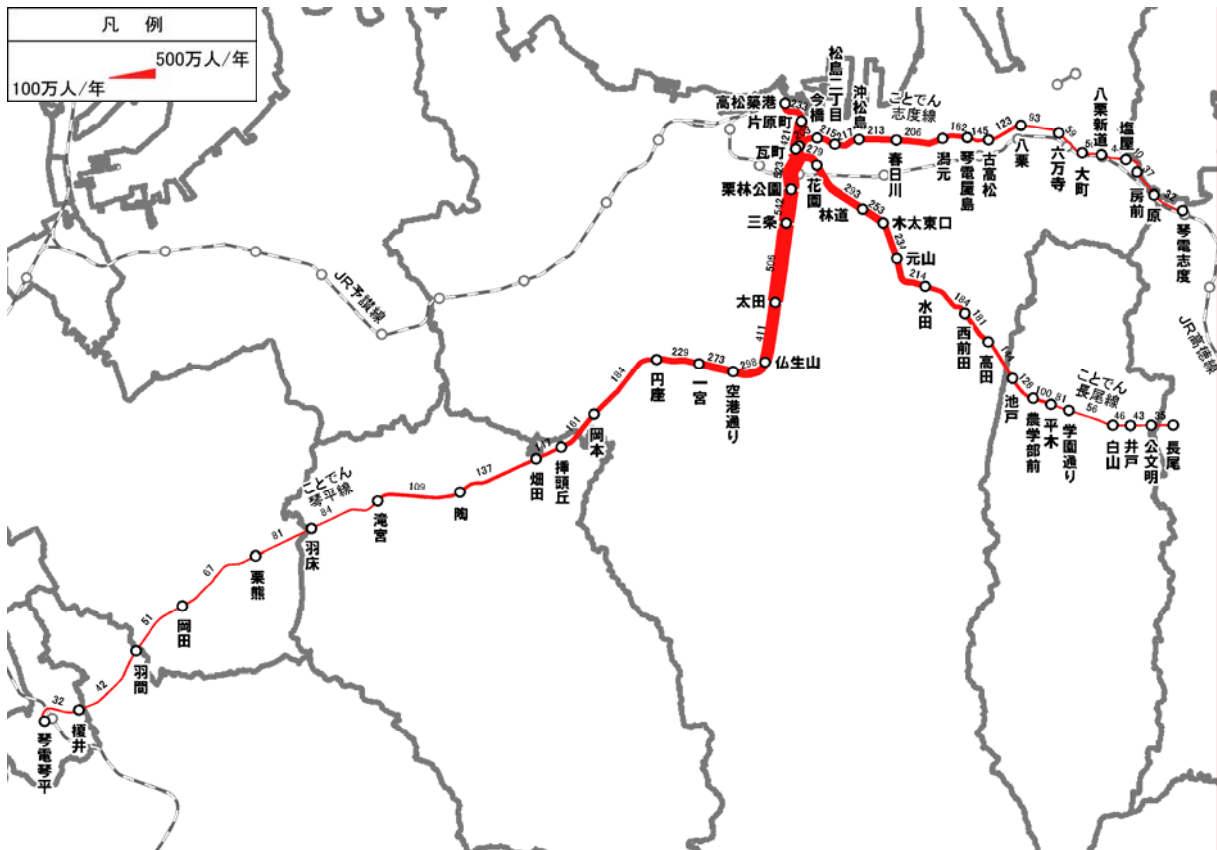


注)各路線におけるH21年度の利用者数上位5駅を掲載

#### ④ 駅間流動

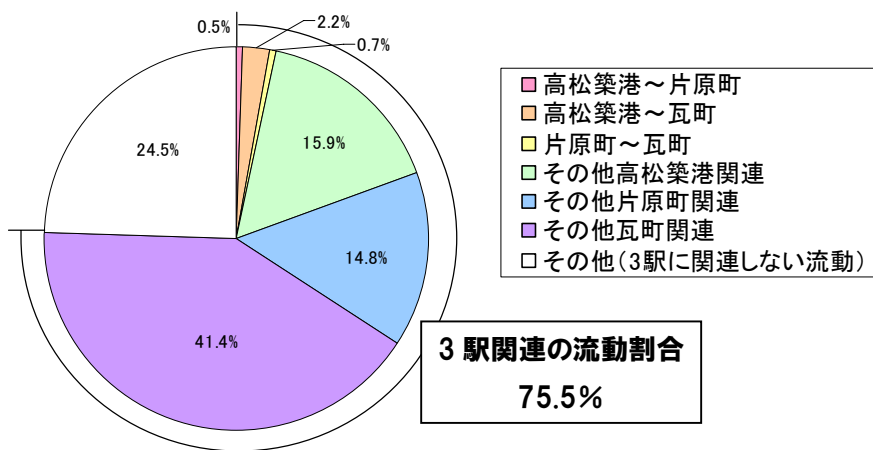
- ・ことでの駅間断面利用者数をみると、瓦町を中心に遠ざかるほど、利用者数が減少する傾向がみられます。
- ・また、駅間流動でみると、高松築港、片原町、瓦町の3駅関連の流動が全体の約75.5%を占めています。

#### <駅間断面利用者数>



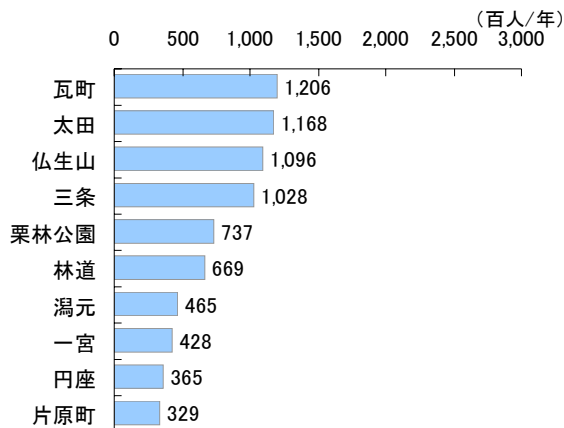
資料)ことでん提供資料(平成21年データ)

#### <ことでの駅間利用者数割合(平成21年度)>

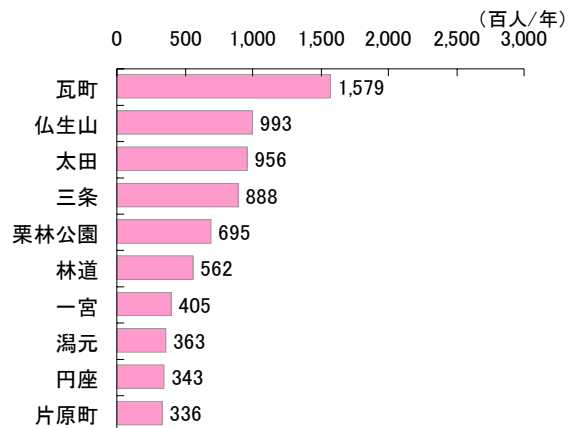


<主要駅に係る駅間利用者数(上位流動 10 位まで)>

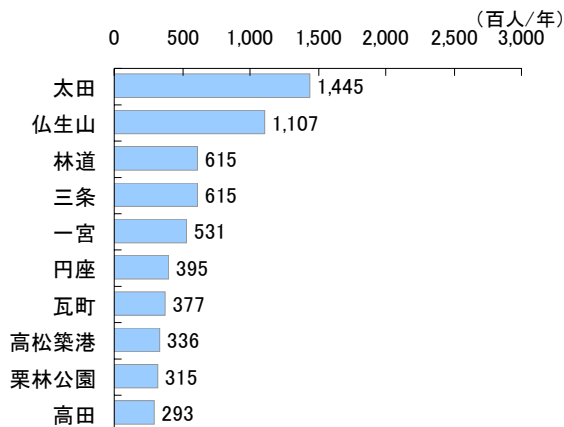
〔高松築港駅を乗車駅とする利用者数〕



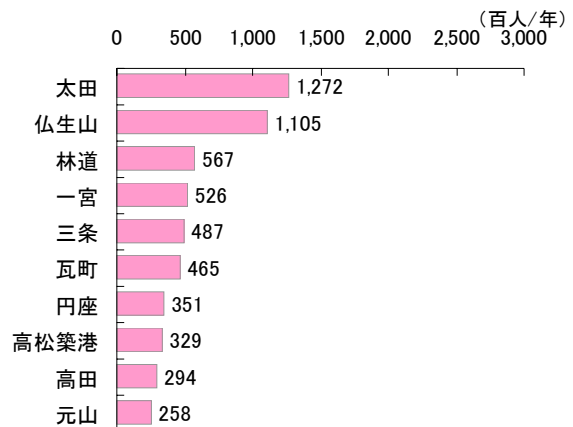
〔高松築港駅を降車駅とする利用者数〕



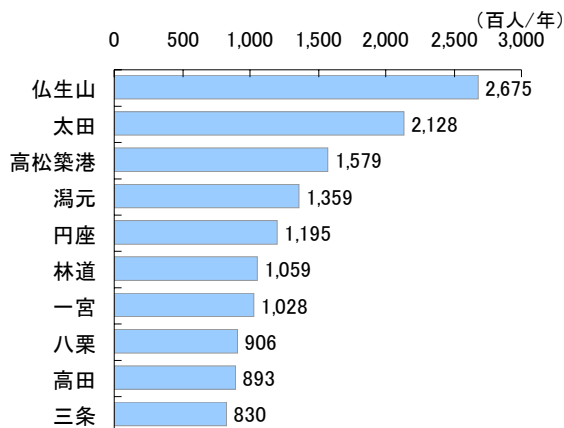
〔片原町駅を乗車駅とする利用者数〕



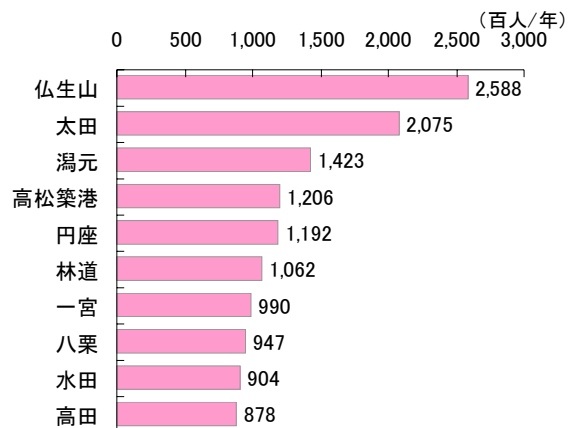
〔片原町駅を降車駅とする利用者数〕



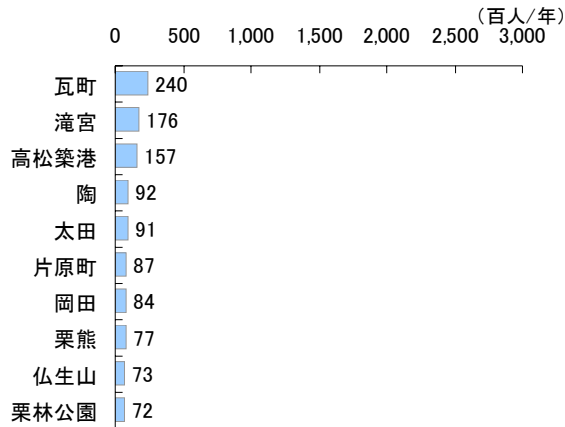
〔瓦町駅を乗車駅とする利用者数〕



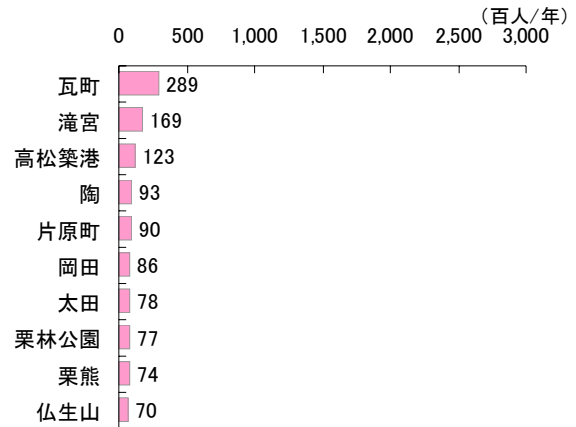
〔瓦町駅を降車駅とする利用者数〕



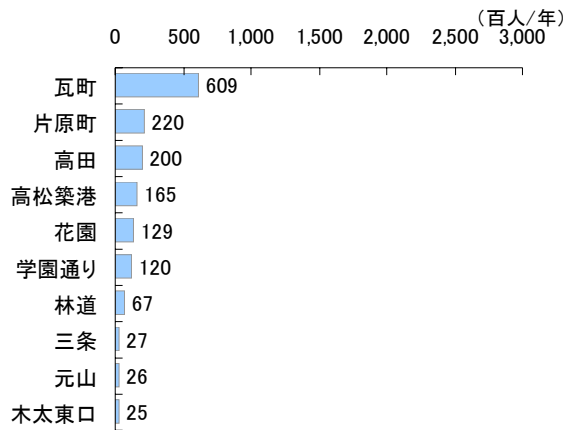
〔琴電琴平駅を乗車駅とする利用者数〕



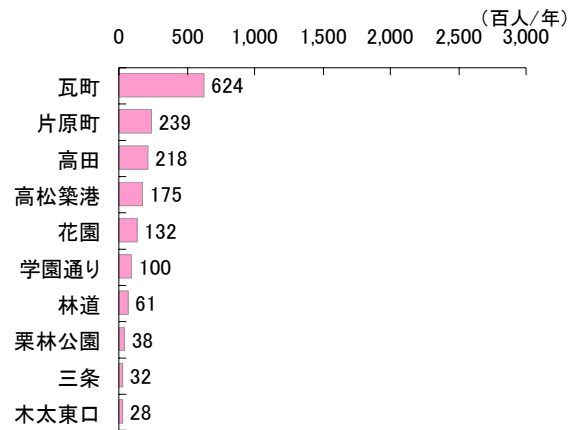
〔琴電琴平駅を降車駅とする利用者数〕



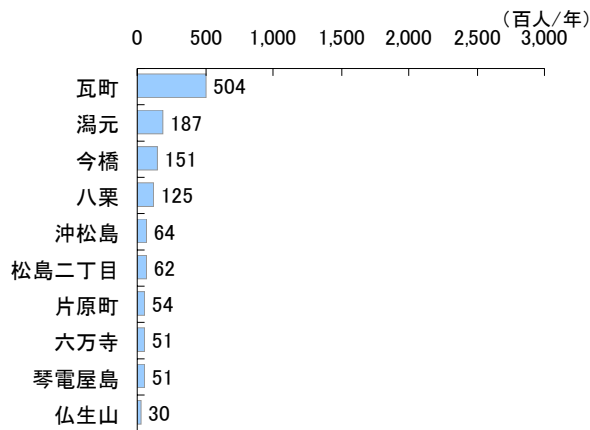
〔長尾駅を乗車駅とする利用者数〕



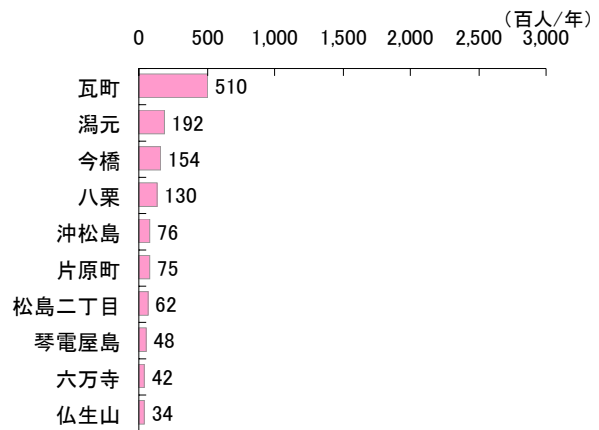
〔長尾駅を降車駅とする利用者数〕



〔琴電志度駅を乗車駅とする利用者数〕



〔琴電志度駅を降車駅とする利用者数〕



#### 2-4. ことでんの活性化に向けた取組み(ことでん 100 計画)

- ・2001年12月に民事再生法適用を申請したことでんは、平成14年6月に民事再生計画の策定後、同年8月に経営陣を一新し、現在の経営体制を発足しました。
- ・その際に、「ことでん 100 (いちまるまる) 計画」(平成14年度～17年度)を発表し、「四国一の電鉄会社にします」とのスローガンを掲げ、現在、会社を挙げてこの計画の実施に取り組んでいます。
- ・その後、「ことでん 100 計画 partⅡ」(平成19年度～21年度)を経て、現在の「ことでん 100 計画 partⅢ」(平成22年度～24年度)に至り、様々な活性化の取組みが進められています。

## <ことடன் 100(いちまるまる)計画の概要>

計画の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松市を中心に60kmの営業路線を有し、5千人を越える輸送密度で、通勤・通学を主体とする生活路線であった。道路整備の急速な進展等に加え、利用者に対するサービス対応の問題、地域との対話・連携の不足等の問題から、利用者数は年率4%弱程度で減少が続き、厳しい経営状況にあったが、デフレ経済が続く中、それまで経営支援を続けてきた子会社の琴電そごうが経営不振に陥ったため、その影響でことだんも存続の危機を迎えた。</li> <li>こうした状況に対し香川県は鉄道事業再生のためにはサービス改善、信頼の回復等が前提であるとして、平成14年2月、会社に対して「サービスの改善」と「経営体制の一新」を条件に、平成17年度までの4年間に限り、総額5億円を上限として会社の実施する設備投資に対して沿線1市8町（現在は2市6町）と共に特別支援すると表明した。</li> <li>これを受けて、会社において経営陣の一新と「ことだん100計画」（平成14年度～17年度）を策定し、その後も「ことだん100計画 partⅡ」（平成19年度～21年度）、「ことだん 100計画 partⅢ」（平成22年度～24年度）を継続的に策定し、経営再建の取組が進められています。</li> </ul>
計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県、沿線2市6町の特別支援のもとに「ことだん 100 計画」（再生計画による需要予測（平成18年度230万人減）から輸送人員100万人増（100万人県民に一人一回多く利用してもらう）を目標）では、3つの企業指針の下に取組を掲げ、年度ベースで「アクションプログラム」を作成して、車両、施設の改良等を実施。</li> <li>◆ このほか実施してきた主な内容は以下の通りとなる。</li> </ul> <p><b>1. 「四国一：『サービスの良い』会社になります」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者ニーズに対応するため、投書・意見箱「イルカボックス」を有人駅に設置し、寄せられた意見全てに対して回答をして駅に貼りだすとともに、可能なものは直ちに実施。 これまでに、「イルカボックス」を受けて、実施した施策は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・瓦町駅3番線の運行案内板をよく見える位置に移設し発車ベルを上下違う音とし誤乗車を防止</li> <li>・全線の無人駅に簡易券売機を設置</li> <li>・駅構内分煙化のための喫煙所の設置</li> </ul> </li> <li>②シンボルキャラクターを「いるか」とし、愛称募集により「ことちゃん」と命名。併せて、3路線に「ことちゃん こんびら号」（琴平線）、「ことちゃん 遍路号」（長尾線）、「ことちゃん 源平号」（志度線）を走行。</li> <li>③企画切符を発売。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことだん・JRくるりーんきっぷ（JR四国と連携し、1日中ことだん全線とJRの指定路線を乗り降りできる切符）</li> <li>・1日フリーきっぷ（1日中ことだん全線を乗り降りできる切符）</li> <li>・ことだんシティパス（高松市中心部の観光施設へのアクセスに便利な乗車券）</li> <li>・初詣フリーきっぷ（H16）</li> </ul> </li> <li>④利用状況に応じたダイヤ改正を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 長尾線学園通り駅開業・休日ダイヤ設定</li> <li>・平成15年度 JRとの接続改善</li> <li>・平成16年度 琴平線滝宮行き増発</li> <li>・平成18年度 琴平線空港通り駅開業</li> <li>・平成22年度 仏生山→高松築港間の始発13分繰上げ（仏生山5時42分発 高松築港行きを設定） 羽床→琴電琴平間の終電30分繰下げ（高松築港23時00分発 琴電琴平行きを設定） 高松築港→一宮間の終電15分繰下げ（高松築港23時30分発 一宮行きを設定） 高松築港～長尾間で朝1本・夕夜間に2本を増発 ターミナル駅である瓦町で乗継を改善</li> </ul> </li> </ol> <p><b>2. 「四国一：『地域と共に歩む』会社になります」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①関係機関との協議を通じて新駅を建設。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 長尾線 学園通り駅</li> <li>・平成18年度 琴平線 空港通り駅</li> </ul> </li> <li>②「ことだん利用促進協議会」等への協力により、地域との連携を強化。</li> <li>③地域とタイアップしたイベント等を実施（屋島ゆうやけいフェスタ〔屋島山上観光協会主催〕等）</li> </ol> <p><b>3. 「四国一：『生きがいと夢のある』会社になります」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①パソコンを本社・現場管理部門に一人一台ずつ支給し、全ての会議で「ペーパーレス」を実現。</li> <li>②15年10月より「社内モニター制度」をスタート。</li> <li>③「業績評価制度」を採用。</li> </ol>